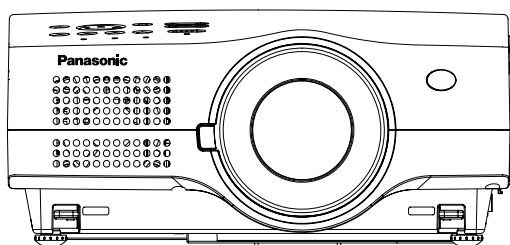


取扱説明書

品番 TH-L785



このたびは、パナソニック 液晶プロジェクターをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

■この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

特に「安全上のご注意」(4～9ページ)は、ご使用前に必ずお読みいただき、安全にお使いください。

お読みになったあとは、保証書と一緒に大切に保管し、必要なときにお読みください。

■保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。

■製造番号は安全確保上重要なものです。

お買い上げの際は製品本体と保証書の製造番号をお確かめください。

保証書別添付上手に使うって上手に節電

もくじ

はじめに

安全上のご注意	4
ご使用になる前に	10
付属品を確認する	12
各部の名前と働き	13
●本体前面・上面	●本体後面・底面
●接続端子部	●本体操作部
●リモコン	

準備

設置する	18
●投写方式	●投写関係
●投写距離	
接続する	20
●パソコン	●AV機器
リモコンを準備する	22
●リモコンのIDナンバーを設定する	

基本の使い方

電源を入れて投写する	24
電源を切る	26

便利な機能

位置を自動補正する (AUTO SETUP)	28
映像・音声を一時的に消す (SHUTTER)	29
映像を静止させる (FREEZE)	29
映像を拡大する (D.ZOOM)	30
音量を調整する (VOLUME)	30
ズーム/フォーカスを調整する	31
リモコンの便利な使いかた	32
●レーザーポインター機能	●ワイヤレスマウス機能

調整・設定

オンスクリーンメニューについて	34
●メニュー画面一覧	●メニュー画面の操作方法
●調整値を工場出荷設定に戻す	
映像を調整する	39
●映像モード	●ピクチャー
●黒レベル	●色の濃さ
●色あい	●シャープネス
●色温度設定	●ノイズリダクション
●TVシステム	●白バランスR/G/B

●sRGBに対応した映像にするには	
画面位置を調整する	42
●ポジション	●ドットクロック
●クロックフェーズ	●台形補正
●OSD表示位置	●アスペクト
●リサイジング	●自動位置補正
●フレームロック	
音声を調整する	46
●音量	●ミュート
表示言語を切り換える	46
オプション設定	47
●OSD表示	●自動入力サーチ
●入力自動セットアップ	●RGB2入出力選択
●RGB/YPbPr	●VGA60/480p
●バックカラー	●シネマリアリティ
●投写方式1	●投写方式2
●ファン制御	●ランプ出力
●ランプ時間	●FUNC1設定
●操作キー	●ID設定
●オートパワーオフ	
レンズを調整する	50
ネットワーク設定	50
セキュリティの設定	51
●パスワード設定・変更	●テキスト表示・変更
●ロゴ表示	●ロゴクリア
●ロゴキャプチャ	

点検・お手入れ

温度、ランプモニターが点灯したら	53
エアフィルターの清掃・交換	55
ランプの交換	56
修理を依頼される前に	59
お掃除とお手入れ	60

その他



電源コード・リモコンを収納する	61
端子部カバーとして使う	62
投写レンズを交換する	63
●交換手順	●投写関係
仕様	67
付録	69
●対応信号リスト	●リモート端子について
●シリアル端子について	●接続端子のピン配列
●投写寸法の計算式	
保証とアフターサービス	75
外形寸法図	76

安全上のご注意




必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、物的損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

- 表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や物的損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

	警告	この表示の欄は、「死亡または重傷を負うことが想定される危害の程度」です。
	注意	この表示の欄は、「傷害を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される危害・損害の程度」です。

- お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。
(下記は絵表示の一例です。)

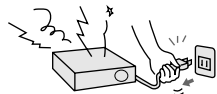
	この絵表示は、気をつけていただきたい「注意」内容です。
	このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
	このような絵表示は、必ず実行していただく「指示」内容です。

警告

- 煙やへんな臭いや音がしたら電源プラグを抜く



電源プラグを抜く



そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

- 煙が出なくなるのを確認して修理を販売店にご依頼ください。
- お客様による修理は危険ですからおやめください。

- コンセントや配線器具の定格を超える使い方や交流100V以外での使用はしない



たこ足配線等で、定格を超えると、発熱による火災の原因となります。



警告

■天井取り付け(天つり)などの設置工事は専門の技術者に依頼する



工事の不備があると事故の原因となります。

■使用中は投写レンズをのぞかない

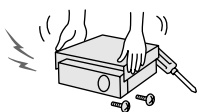


投写レンズからは強い光が出ます。直接、中をのぞくと目を痛める原因となります。

禁止

- 特に小さなお子様にはご注意ください。また、本機から離れる場合は主電源を切ってください。

■カバー、ケースを外したり、改造したりしない



分解禁止

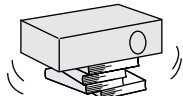
内部には、電圧の高い部分があり、火災・感電の原因となります。

	<p>高圧注意</p> <p>サービスマン以外の方は、ケースをあけないでください。</p> <p>内部には高電圧部分が多くあり万一さわると危険です。</p>
--	---

「本体に表示した事項」

- 内部の点検・調整・修理は販売店にご依頼ください。

■荷重に耐えられない場所や不安定な場所に設置しない



禁止

強度が弱い所や不安定な場所に設置すると、落下などで大きな事故やけがの原因となります。

■内部に異物や水などが入ったり、落としたり、キャビネットが破損したら、電源プラグを抜く



電源プラグを抜く

火災・感電の原因となります。

- 修理は販売店にご依頼ください。

■上に水などが入った容器を置かない



水がこぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因となります。

禁止

- 水が内部に入ったときは、販売店にご相談ください。



警告

■ 異物を入れない



禁止



内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落とし込んだりしないでください。火災・感電の原因となります。

■ 電源プラグは根元まで確実に差し込む



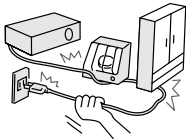
差し込みが不完全ですと感電や発熱による火災の原因となります。

- 傷んだプラグ・ゆるんだコンセントは使用しないでください。

■ 電源コード・電源プラグを破損するようなことはしない



禁止



傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重い物を載せたり、束ねたりしないでください。

- 傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因となります。
- コードやプラグの修理は、販売店にご相談ください。

■ 電源プラグのほこりは定期的に掃除をする



電源プラグにほこりがたまる、湿気等で絶縁不良になり火災の原因となります。電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。

- 長期間使用しないときは、電源プラグを抜いてください。

■ 排気孔には手や物を近づけない



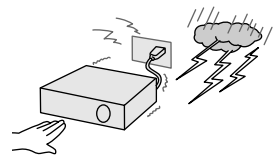
禁止

排気孔からは熱風が出ています。手や顔を近づけたり熱に弱いものを置くとやけどや変形の原因となります。

■ 雷が鳴り出したら、本機やケーブルに触れない



接触禁止



感電の原因となります。

■ 水をかけたり、ぬらしたりしない



水ぬれ禁止

火災・感電の原因となります。



警告

■風呂場、シャワー室では使用しない



禁止

火災・感電の原因となります。

■ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない



ぬれ手
禁止



感電の原因となります。

■リモコンを子供に使用させたり、レーザー光をのぞきこんだり、人に向けない



禁止

リモコンより発射されるレーザー光を、直接目に当てますと、視力低下などの原因になることがあります。

■電池を廃棄する場合、テープなどで絶縁する



他の金属や電池と混じると発火・破裂の原因となります。

■はずした電池は、乳幼児の手の届くところに置かない



禁止

飲み込むと窒息死の原因となります。

- 万一、飲み込んだと思われるときはすぐに医師にご相談ください。

■電池の+・-部に金属物(ネックレスやヘアピンなど)を接触させない



禁止

液もれ・発熱・破裂・発火の原因となります。

- ビニール袋などに入れ、金属と接触させないようにしてください。

■ランプ交換を行う前に、必ず電源プラグをコンセントから抜く



電源プラグを抜く

感電や破裂の原因となります。

■ランプユニットの交換は、ランプが冷えてから(1時間以上待つ)行う



カバー内部がかなり熱く、やけどの原因となります。

注意

■ 電源プラグを抜くときは、コードを持たずに必ずプラグを持って抜く



コードをひっぱるとコードが破損し、感電・ショート・火災の原因となることがあります。

■ 移動させる場合は、必ず接続線を外す



接続したまま移動させると、コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

■ 電池はショート、分解、加熱、火・水に入れるなどしない



禁止

発熱、液もれ、破裂などを起こし、けがややけどの原因になることがあります。

■ 電池を入れるときは極性表示(+と-の向き)に注意する



間違えますと電池の破裂・液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

■ 指定以外の電池を使用しない



禁止

破裂・液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

■ 新しい電池と古い電池を混ぜて使用しない



禁止

間違えますと電池の破裂・液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

■ 湿気やほこりの多い所、油煙や湯気が当たるような所に置かない



禁止

火災・感電の原因となることがあります。

■ 吸気孔や排気孔をふさがない



禁止

内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

- 押し入れ、本棚など風通しの悪い狭い所に押し込まないでください。

■ ランプが破裂したときには以下のことを守り正しく取り扱う



本機の内部やランプハウス内にはガラス片が散乱している可能性があります。

- 販売店にランプの交換と内部の点検をご依頼ください。
- 通風口よりガスや粉塵が出たりすることがあります。ガスには水銀が含まれています。万が一吸い込んだり、目に入ったり、口に入った場合は直ちに医師にご相談ください。

⚠ 注意

■ 本機に乗らない



倒れたり、こわれたりしてけがの原因となることがあります。

禁止

- 特に小さなお子様にはご注意ください。

■ 上に重い物を置かない



バランスがくずれて倒れたり、落下して、けがの原因となることがあります。

禁止

■ ケーブルカバーを持って、本機を持ち上げない



ケーブルカバーが外れ、本体が落下して、けがの原因となることがあります。

禁止

■ お手入れの際は、安全のため電源プラグをコンセントから抜く



感電の原因となることがあります。

電源プラグを抜く

■ 1年に1度は内部の清掃を販売店に依頼する



本機の内部にほこりがたまったまま、長い間清掃しないと火災の原因となることがあります。

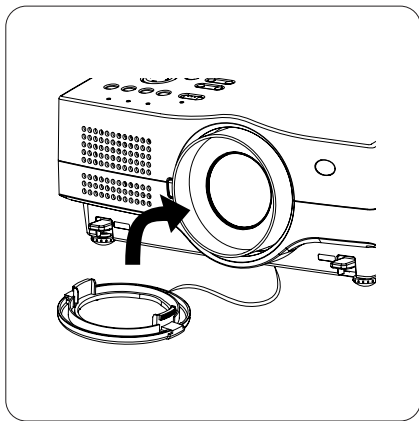
- 特に湿気の多くなる梅雨期の前に行うと効果的です。販売店にご依頼ください。なお、内部清掃費用については販売店にご相談ください。

ご使用になる前に

運搬上の留意点

運搬時は必ずレンズカバーを取り付けてください。

投写レンズは、振動や衝撃に対して影響を受けやすい部品です。運搬時に振動や衝撃を与えないようご注意ください。



設置に関する留意点

振動や衝撃が加わる場所への設置は避けてください



内部の部品がいたみ、故障の原因となります。

高圧電線や動力源の近くに設置しないでください



妨害を受ける場合があります。

本機を天井に取り付ける場合は必ず専門の技術者にご依頼ください



別売りの天つり金具(品番：TY-PK780)をお買い求めのうえ、取り付け工事を専門の技術者にご依頼ください。

海拔1 400 m以上でのご使用に際しては、48ページの「ファン制御」を「高」に設定してください。



そのまま使用すると部品の寿命等に影響を及ぼす恐れがあります。

使用上の留意点

美しい映像をご覧いただくために
スクリーン面に外光や照明などの光が入らないように、窓のカーテンやブラインドなどを閉め、スクリーン面近くの照明を消すなどの配慮をしてください。

投写レンズは素手でさわらないでください

投写レンズ面に指紋や汚れがつくと、拡大されてスクリーンに映ります。また本機を使用されないときは、レンズカバーを被せておいてください。

スクリーンについて

スクリーンに変色の原因となる揮発性のものをかけたり、傷や汚れが付かないよう取り扱いにご注意ください。

液晶パネルについて

液晶パネルは、非常に精密度の高い技術で製造されております。投写画面の一部にドット欠けや、常時点灯が存在する場合がありますが、あらかじめご了承ください。

光学部品について

毎日6時間以上連続使用される場合、1年未満でも液晶パネル、偏光板などの光学部品の交換が必要になることがあります。詳しくは、お買い上げの販売店へご相談ください。

ランプについて

本機の光源には、内部圧力の高い水銀ランプが使われています。高圧水銀ランプにはつぎのような特性があります。

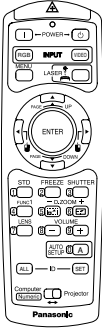

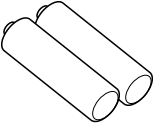
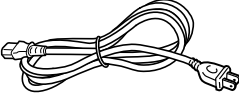
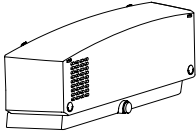
- 使用時間の経過とともに、ランプの輝度が低下します。
- 衝撃やキズ、使用時間の経過による劣化などで大きな音をとまなつて破裂したり、不点灯状態となって寿命が尽きたりすることがあります。
- 個体差や使用条件によって寿命に大きなバラツキがあります。特に10時間以上の連続使用や頻繁な電源オン／オフの繰り返しは、寿命に大きな影響を及ぼします。
- ごくまれに使用後まもなく破裂することがあります。
- 交換時期を越えると破裂の可能性が高くなります。交換時期や交換方法については56ページをご覧ください。

廃棄について

本機を廃棄する場合は、販売店に依頼するか専門の業者に依頼してください。

付属品を確認する

下図の付属品が入っていることを確認してください。[]は、個数です。

<p>リモコン [1] (N2QAEA000022)</p> 	<p>RGB信号ケーブル [1] (3.0 m VGA用、 K1HB15FA0001)</p> 	<p>リモコン用単4形乾電池 [2]</p> 
	<p>電源コード [1] (K2CA2FZ00007)</p> 	<p>ケーブルカバー [1] (TXFKR01VJX7)</p> 

注意

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

注意

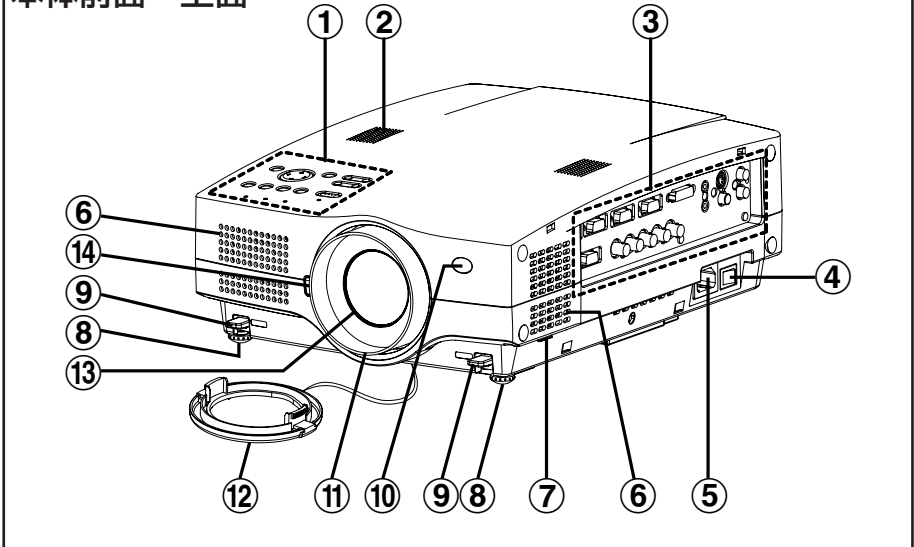
パソコンや外部機器に接続する際、シールドされたインターフェースケーブルを使用してください。

「JIS C 61000-3-2 適合品」

： JIS C 61000-3-2 適合品とは、日本工業規格「電磁両立性—第3-2部：
限度値—高調波電流発生限度値（1相当りの入力電流が20A以下の機器）」に
基づき、商用電力系統の高調波環境目標レベルに適合して設計・製造した製品
です。

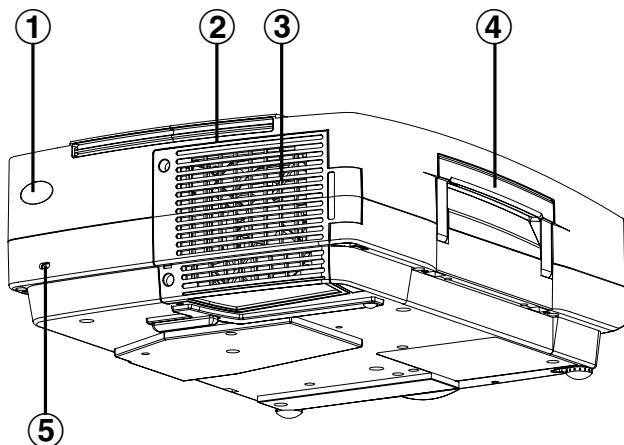
各部の名前と働き

本体前面・上面



- ① 本体操作部 (☞ 16ページ)
- ② スピーカー
- ③ 接続端子部 (☞ 15ページ)
- ④ 主電源(MAIN POWER)スイッチ (☞ 24、26ページ)
- ⑤ AC入力(AC IN)端子 (☞ 24ページ)
付属の電源コードを接続します。付属のもの以外は接続しないでください。
- ⑥ 吸気孔
ふさがないようにしてください。
- ⑦ エアフィルター (☞ 55ページ)
- ⑧ 前方アジャスター脚(左・右) (☞ 25ページ)
- ⑨ アジャスターボタン(左・右) (☞ 25ページ)
前方アジャスター脚のロックを解除できます。押しながら本機の傾きを調整します。
- ⑩ リモコン受光部(前) (☞ 22ページ)
- ⑪ フォーカスリング (☞ 25ページ)
- ⑫ レンズカバー
- ⑬ 投写レンズ
- ⑭ レンズロックボタン (☞ 63ページ)
別売りの投写レンズをご使用の際に使用します。

本体後面・底面



- ① リモコン受光部(後)(☞ 22ページ)
- ② ランプユニット収納部(☞ 56,57ページ)
- ③ 排気孔
- ④ キャリングハンドル
- ⑤ 盗難防止用ロック

市販の盗難防止用ケーブル (Kensington社製)などを接続することができます。また、Kensington社製のマイクロサーバーセキュリティシステムに対応しています。日本国内総代理店の連絡先は以下の通りです。



警告

■ 排気孔には手や物を近づけない



禁止

排気孔からは熱風が出ています。手や顔を近づけたり熱に弱いものを置くとやけどや変形の原因となります。

日本ボラデジタル株式会社 第3営業部

〒104-0032 東京都中央区八丁堀1丁目5番2号 はごろもビル

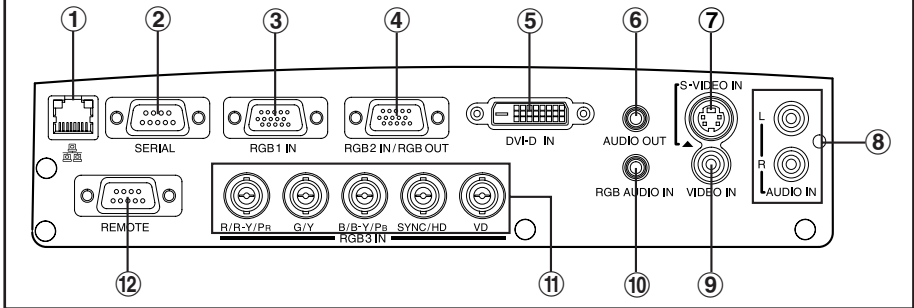
Tel : 03-3537-1070 Fax : 03-3537-1071

※連絡先は変更になる可能性がありますのでご了承ください。

お知らせ

- 映像投写中は、冷却ファンが回転するため動作音があります。また、ランプ点灯時や消灯時は動作音が大きくなります。
- 「オプション」メニューの「ランプ出力」を「低」に設定すると、動作音が低減します。(☞ 48ページ)

接続端子部



① LAN端子

パソコンから本機を制御するための端子です。(10Base-T/100Base-TX準拠)
詳しくは、別冊のネットワーク機能編をご覧ください。

② シリアル(SERIAL)端子 (☞ 20、21、71ページ)

パソコンから本機を制御するための端子です。(RS-232C準拠)

③ RGB1入力(RGB1 IN)端子 (☞ 20、21ページ)

RGB信号またはYPbPr信号を入力する端子です。

④ RGB2入力/RGB出力(RGB2 IN/RGB OUT)端子 (☞ 20、21、48ページ)

RGB信号またはYPbPr信号を入出力する端子です。「オプション」メニューの「RGB2入出力選択」で入出力の切り換えができます。

⑤ DVI-D入力(DVI-D IN)端子 (☞ 20ページ)

DVI-D信号を入力する端子です。

⑥ 音声出力(AUDIO OUT)端子 (☞ 20、21ページ)

本機に入力された音声信号を出力します。この端子に接続すると内蔵スピーカーからは音声が出ません。

⑦ Sビデオ入力(S-VIDEO IN)端子 (☞ 21、44ページ)

Sビデオ対応のビデオデッキなどからの信号を入力する端子です。S1信号に対応しており入力信号のサイズに合わせて16:9または4:3に自動切り換えします。

⑧ ビデオ/Sビデオ用音声入力(AUDIO IN L-R)端子 (☞ 21ページ)

1系統しかありませんのでビデオとSビデオで差し替えて使用してください。

⑨ ビデオ入力(VIDEO IN)端子 (☞ 21ページ)

ビデオデッキなどの映像信号を入力する端子です。

⑩ RGB音声入力(RGB AUDIO IN)端子 (☞ 20、21ページ)

1系統しかありませんのでRGB1、RGB2とRGB3で差し替えて使用してください。

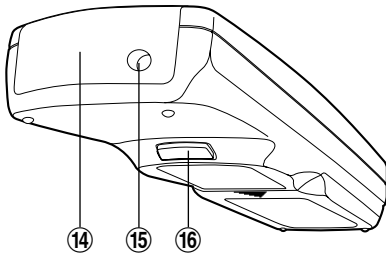
⑪ RGB3入力(RGB3 IN)端子 (☞ 20、21ページ)

RGB信号またはYPbPr信号を入力する端子です。

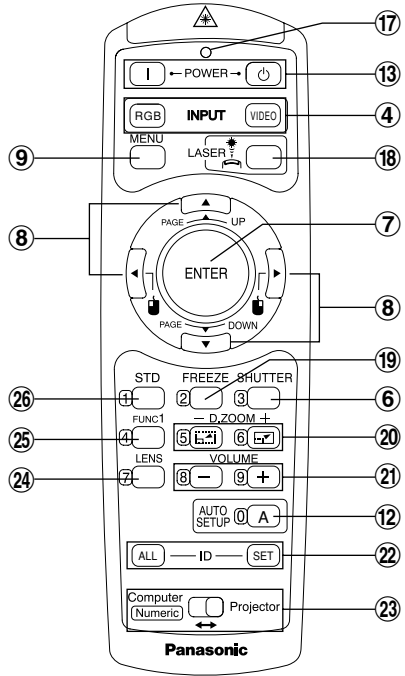
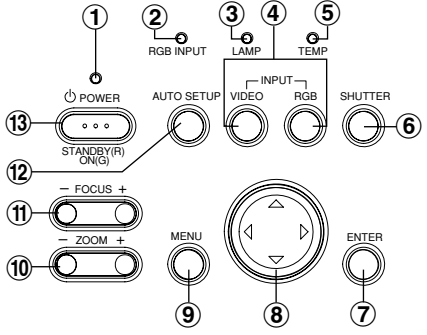
⑫ リモート(REMOTE)端子 (☞ 70ページ)

本体を外部制御回路を使用して遠隔操作することができます。

リモコン



本体操作部



- ① **電源モニター** (☞ 24、26、27ページ)
主電源を入れると赤色に点灯し、投写を開始すると緑色に点灯します。WEBスタンバイ時は、ゆっくりと赤色に点滅します。
- ② **RGB入力(RGB INPUT)モニター**
入力切り換えで選択した入力端子に信号が入力されていると点灯します。
- ③ **ランプ(LAMP)モニター** (☞ 54、57ページ)
ランプユニットの交換時期になると点灯します。ランプ回路に異常が発生すると点滅します。
- ④ **入力切り換え(RGB、VIDEO)ボタン** (☞ 25ページ)
入力信号を切り換えることができます。「オプション」メニュー内の「自動入力サーチ」をオンにしている場合は、このボタンを数秒押しつづけると自動的に入力信号を探し、切り換えることができます。(☞ 47ページ)
- ⑤ **温度(TEMP)モニター** (☞ 53ページ)
周囲温度または本機の内部温度が異常に上昇すると点灯します。一定温度を超えると自動的に電源が切れて点滅します。
- ⑥ **シャッター(SHUTTER)ボタン** (☞ 29ページ)
映像と音声を一時的に消すことができます。
- ⑦ **エンター(ENTER)ボタン** (☞ 37ページ)
オンスクリーンメニューで、項目を実行します。
※ リモコンのパソコン操作モード時は、機能が変わります。(☞ 33ページ)

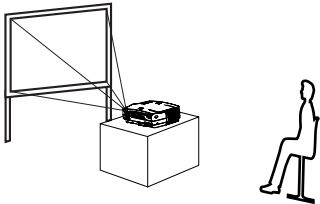
- ⑧ ▲▼◀▶ ボタン (☞ 37ページ)
オンスクリーンメニューで項目を選択したり、設定の切り換え、調整を行います。
※ リモコンのパソコン操作モード時は機能が変わります。(☞ 33ページ)
- ⑨ メニュー(MENU) ボタン (☞ 34、37ページ)
メインメニューを表示させます。メニューが表示されている時は、前の画面に戻したり、メニューを消せます。
- ⑩ ズーム(ZOOM) ボタン (☞ 25、31ページ)
＋／－ボタンで投写映像サイズの調整ができます。
- ⑪ フォーカス(FOCUS) ボタン (☞ 25、31ページ)
＋／－ボタンでフォーカスの調整ができます。
- ⑫ オートセットアップ(AUTO SETUP) ボタン (☞ 25、28ページ)
映像を投写してこのボタンを押せば、入力信号にあわせて自動調整します。
- ⑬ 電源(POWER) ボタン (☞ 24、26ページ)
主電源(MAIN POWER)スイッチがONのとき、で電源を入れることが、で電源を切ることができます。
- ⑭ 赤外線発射部
- ⑮ レーザー光発射部 (☞ 32ページ)
- ⑯ クリックボタン (☞ 33ページ)
リモコンのパソコン操作モード時に使用します。
- ⑰ リモコン操作表示ランプ
レーザー光を発射している(レーザー[LASER]ボタンを押している)間は点灯します。それ以外のボタンを押している間は点滅します。
- ⑱ レーザー(LASER) ボタン (☞ 32ページ)
ボタンを押している間、レーザー光を発射します。レーザー光は、レーザーポインターとして利用できます。
- ⑲ フリーズ(FREEZE) ボタン (☞ 29ページ)
動画を一時的に静止させます。
- ⑳ デジタルズーム(D.ZOOM +／－) ボタン (☞ 30ページ)
映像を拡大することができます。
- ㉑ 音量(VOLUME +／－) ボタン
内蔵スピーカーの音量を調整します。本体で調整する場合は46ページをご覧ください。
- ㉒ IDセット(ID SET/ALL) ボタン (☞ 23ページ)
本体を複数台使用する場合に、リモコンのIDナンバーを設定します。
- ㉓ 操作モード切り換え(Computer, Projector) スイッチ
パソコンを操作するときは左側、プロジェクターを操作するときは右側に切り換えます。
- ㉔ レンズ(LENS) ボタン (☞ 31ページ)
ズーム／フォーカス調整画面を表示します。
- ㉕ ファンクション1(FUNC1) ボタン (☞ 43、46、48ページ)
音声ミュートを切り換えたり、台形補正に切り換えることができます。
「オプション」メニュー内の「FUNC1設定」で設定できます。
- ㉖ スタンダード(STD) ボタン (☞ 38ページ)
調整値を工場出荷状態に戻します。

設置する

投写方式

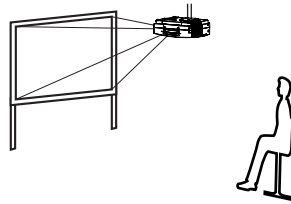
本機は、下図の4通りの投写方式が可能です。設置場所に応じた投写方式を選択してください。(投写方式の設定は「オプション」メニューで行うことができます。☞48ページ)

- 床置き前方投写



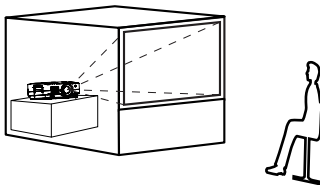
メニュー項目	設定値
投写方式1	フロント
投写方式2	フロア

- 天つり前方投写



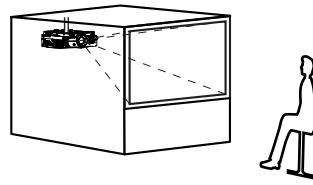
メニュー項目	設定値
投写方式1	フロント
投写方式2	シーリング

- 床置き後方投写
(透過スクリーン使用)



メニュー項目	設定値
投写方式1	リア
投写方式2	フロア

- 天つり後方投写
(透過スクリーン使用)



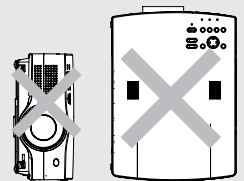
メニュー項目	設定値
投写方式1	リア
投写方式2	シーリング

お知らせ

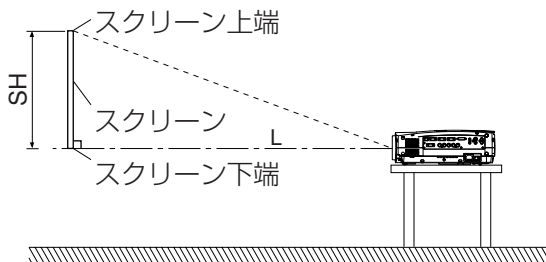
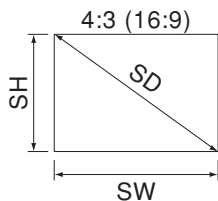
- 天つり(シーリング)設置には、別売りの天つり金具(TY-PK780)が必要です。

お願い

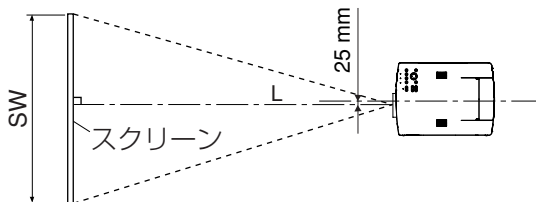
- 本機を立てて使用しないでください。故障の原因となります。
- 本機を傾ける場合は、±30度以内の設置をおすすめします。本機を±30度以上傾けた状態で使用されると部品の寿命等に影響を及ぼす恐れがあります。



投写関係



L: 投写距離
SH: 画像高さ
SW: 画像幅

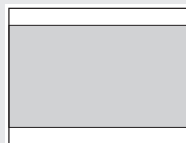


投写距離（標準レンズ）

画面サイズ(4:3)			投写距離(L)	
対角(型)	高さ(SH)	幅(SW)	ワイド(LW)	テレ(LT)
40	0.61 m	0.81 m	1.6 m	2.0 m
50	0.76 m	1.02 m	2.0 m	2.6 m
60	0.91 m	1.22 m	2.4 m	3.1 m
70	1.07 m	1.42 m	2.8 m	3.6 m
80	1.22 m	1.63 m	3.2 m	4.2 m
90	1.37 m	1.83 m	3.6 m	4.7 m
100	1.52 m	2.03 m	4.0 m	5.3 m
150	2.29 m	3.05 m	6.1 m	7.9 m
200	3.05 m	4.06 m	8.1 m	10.6 m
250	3.81 m	5.08 m	10.1 m	13.3 m
300	4.57 m	6.10 m	12.2 m	16.0 m

お知らせ

- 上記の表の寸法、計算式で求められる値は若干の誤差があります。
- 16:9の投写距離で設置した場合は、スクリーンに対して4:3の投写映像が上下にはみ出します。
- 標準レンズの詳細な投写距離が必要な場合は74ページをご覧ください。
- オプションレンズについては、63ページから66ページをご覧ください。



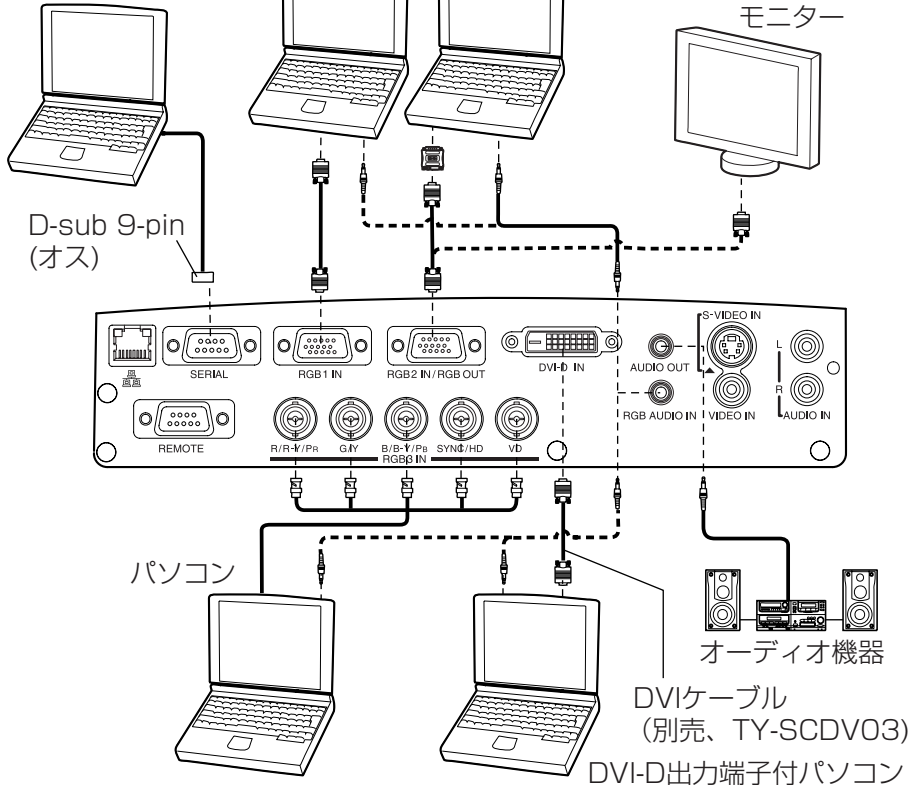
接続する

接続の前に

- 接続の際は、各機器の取扱説明書もよくお読みください。
- 各機器の電源を「切」にしてから接続を行ってください。
- 接続に必要なケーブルは、接続される機器に合わせて準備してください。
- 映像ソースにジッター成分が多い場合は、画面が乱れることがあります。この場合はタイムベースコレクター(TBC)の接続が必要です。
- 本機と接続できる映像信号については、69ページの対応信号リストをご覧ください。
- ビデオ/Sビデオ用音声入力(AUDIO IN L-R)端子とRGB音声入力(RGB AUDIO IN)端子は、各1系統です。複数の機器を接続される場合は差し換えてご使用ください。

パソコン

制御用パソコン

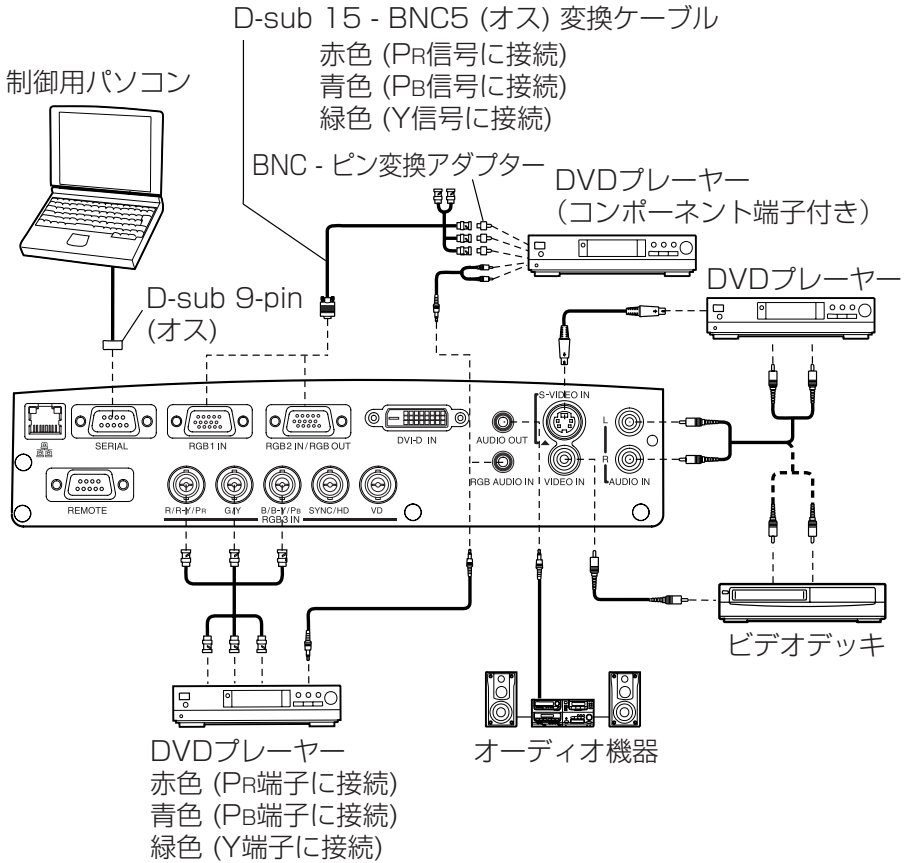


お知らせ

- 「オプション」メニューの「RGB2入出力選択」を「出力」に設定しているときは、RGB2入力/RGB出力(RGB2 IN/RGB OUT)端子に信号を入力しないでください。(P.48ページ)

AV機器

準備



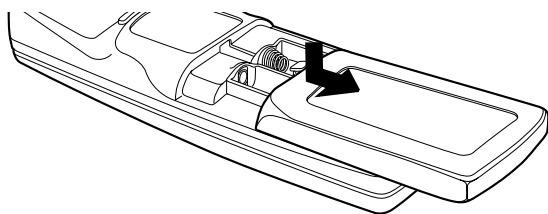
お知らせ

- BNC接栓付きケーブルでビデオ信号を接続する場合は、BNC-ピン変換アダプター(市販品)をご使用ください。
- デジタルズーム中に、信号ケーブルを抜いたり、各機器の電源を切ると、それぞれの機能が解除されます。

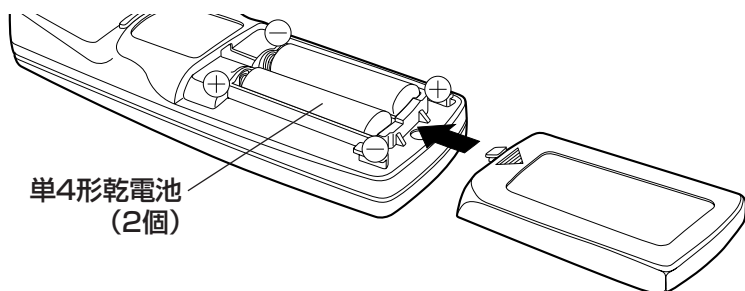
LAN端子を使用してパソコンを接続する場合は、別冊のネットワーク機能編をご覧ください。

リモコンを準備する

① ふたをあける。



② 極性に注意して乾電池を入れ、ふたをしめる。



お願い

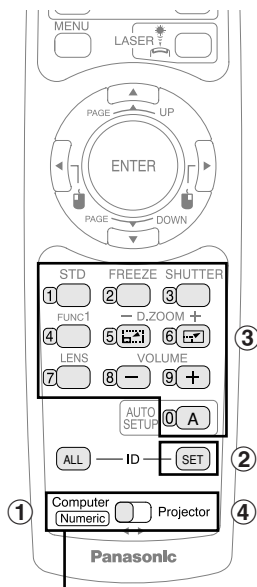
- リモコンは落とさないようにしてください。
- リモコンに液状のものをかけないでください。
- 長時間リモコンを使用しないときは、乾電池を取り出してください。
- 充電式電池は使用しないでください。

お知らせ

- リモコンを直接、本機の前面／後面のリモコン受光部に向けて操作する場合は、リモコン受光部正面より約7 m以内でご使用ください。また、左右±30度・上下±15度まで操作可能です。
- リモコンとリモコン受光部の間に障害物があると、正しく動作しない場合があります。
- リモコン受光部に蛍光灯などの強い光が当たると、本機が誤動作する場合があります。できるだけ光源から離して設置してください。
- スクリーンに向けて操作する場合は、スクリーン特性による光反射口スで操作有効範囲に制限がでる場合があります。

リモコンのIDナンバーを設定する

本体を複数台並べて使用する場合に、1つのリモコンで個別制御、または同時制御するためには、リモコンのIDナンバーの設定と本体のIDナンバーの設定を合わせる必要があります。下記の手順でリモコンのIDナンバーを設定してください。



操作モード切り換え
スイッチ

- ① 操作モード切り換えスイッチを左に切り換える。
- ② リモコンのIDセット (ID SET) ボタンを押す。
現在の本体のIDナンバーがスクリーン左上に表示されます。
- ③ リモコンの数字キー (0~9) を押してIDナンバーを設定する。
 - 1~9に設定する場合
 - 1) 数値を入力する。
 - 2) 約5秒たつと入力終了します。
(数字キーとID SET/ALLボタン以外のキーを押しても入力終了します。)
 - 10~64に設定する場合
 - 1) 数値を入力する。
入力を間違えた場合は、②からやり直してください。
- ④ 操作モード切り換えスイッチを右に切り換える。

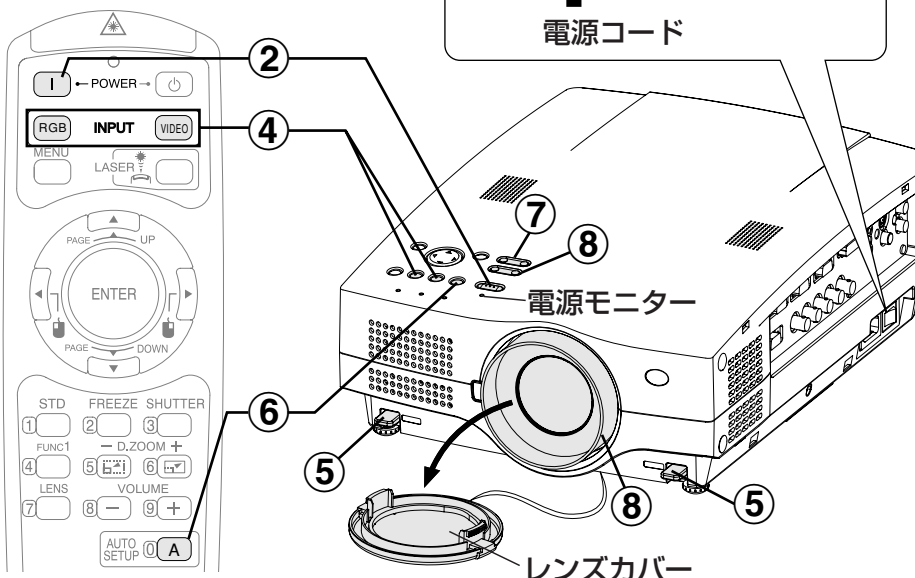
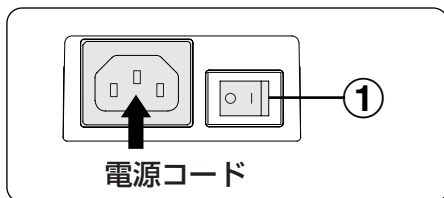
お知らせ

- 64より大きな数値を入力すると、ID SETボタンを押す前のIDナンバーに戻ります。
- IDナンバーを入力しないまま、約5秒たつと、入力終了します。
- IDナンバーを「オール」に設定する時は、ID ALLボタンを押してください。IDナンバーを「オール」に設定すると、本体のIDナンバーに関係なく、本体を制御できます。
- リモコンと本体のIDナンバーの設定を合わせないと、リモコンを使用して電源 (POWER) を入れることができません。本体のIDナンバーの設定のしかたは49ページをご覧ください。
- 工場出荷時は「オール」に設定されていますので1台だけで使用の場合は、IDナンバーの設定は必要ありません。

電源を入れて投写する

電源を入れる前に

1. 機器の接続を確認する。
2. 付属の電源コードを接続する。
3. レンズカバーをはずす。



- 1 主電源(MAIN POWER)スイッチの「I」側を押して電源を入れる。

● 電源モニターが赤色に点灯。

- 2 電源ボタンを押す。
(POWER)

● 電源モニターが緑色に点滅し、しばらくすると点滅から点灯に変わり、投写を開始します。

- 3 接続機器の電源を入れる。

● DVDプレイヤー等は、再生操作を行う。

お知らせ

- 光源ランプ点灯時に「チリチリ」という音がありますが、これは故障ではありません。
- リモコンと本体のIDナンバーの設定を合わせないと、リモコンを使用して電源(POWER)を入れることができません。(P.23、49ページ)

④ 入力切り換えボタンで、入力信号を選択する (INPUT)

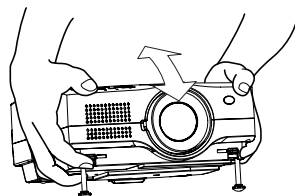
入力切り換えボタン	VIDEO	RGB
	VIDEO	RGB
切り換え動作	VIDEO ↕ S-VIDEO	RGB1 → RGB2 ↑ DVI ← RGB3

- 選択した入力信号の映像が投写されます。
- YPbPr信号入力時は、「RGB」の表示が「YPbPr」に変わります。
([☞](#) 47ページ)

はじめて設置されるときや、場所を変えて設置されるときは、
つづけて下記の調整を行ってください。

⑤ 投写角度を調整する。

- アジャスターボタンを押しながら、上下に調整します。
できるだけ、スクリーンと垂直になるように調整してください。



⑥ オートセットアップボタンを押す。

- 入力信号に応じて、映像の位置を補正します。
([☞](#) 28ページ)
- 投写映像に台形ひずみが発生している場合は、台形補正を行ってください。
([☞](#) 43ページ)

自動位置補正

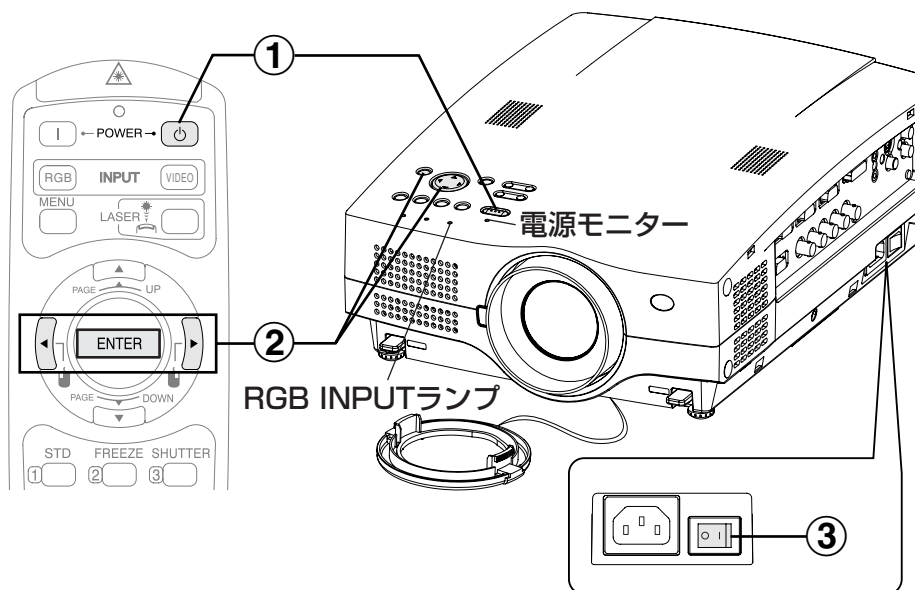
⑦ 投写映像サイズを調整する。

- ズーム (ZOOM +/-) ボタンを押して、調整します。

⑧ フォーカス (ピント) を調整する。

- フォーカス (FOCUS +/-) ボタン・フォーカスリングで調整します。
(微調整はフォーカス (FOCUS +/-) ボタンで行ってください。)

電源を切る



① 電源ボタンを押す。

(POWER)

- 画面に電源OFF確認画面が表示。

電源OFFします
実行 中止

② ◀▶ ボタンで「実行」を選び、 エンターボタンを押す。

(ENTER)

- ランプが消え映像の投写を停止。(冷却ファンは回転したまま、電源モニターがオレンジ色に点灯します。)

③ 電源モニターが赤色に点灯したら、 主電源(MAIN POWER)スイッチの「○」側を 押して電源を切る。

ダイレクトパワーオフ機能

投写中や電源を切った後すぐに電源コードを抜いても、内部電源により冷却ファンが回転しランプの冷却を行いますので、すぐに移動させることができます。

- 電源コードを接続した状態で冷却を行ったときよりランプが再点灯しにくくなることがあります。
- 冷却ファンが回転している間はバック等に入れしないでください。

お知らせ

- 電源 (POWER) ボタンを2回押しでも電源を切ることができます。また、電源 (POWER) ボタンを0.5秒以上押しでも電源を切ることができます。
- 本機はスタンバイ状態で冷却ファンが停止 (本体の電源モニターが赤色に点灯) した状態でも約9 Wの電力を消費しています。
- WEBスタンバイ時は、冷却ファンが回転したまま電源モニターがゆっくりと赤色点滅し、約40 Wの電力を消費します。(P.50ページ)

電源モニターについて

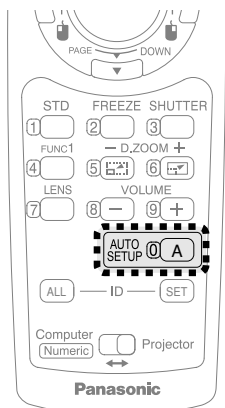
点灯状況		本機の状態
赤色	点灯	電源 (POWER) ボタンで映像投写可能なスタンバイ状態。
	ゆっくりと点滅	接続しているパソコンから本機の電源を「オン」にできるWEBスタンバイ状態。 (冷却ファンが回転しています)
緑色	点滅	赤色点灯中に電源をオンしたときの映像投写の準備状態。(しばらくすると映像を投写します。)
	点灯	映像投写状態。
オレンジ色	点灯	電源オフ後のランプの冷却状態。(冷却ファンが回転しています。)
	点滅	オレンジ色点灯中に電源をオンしたときの映像投写の準備状態。(しばらくすると映像を投写します。)

RGB入力モニターについて

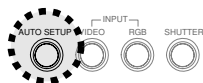
点灯状況	本機の状態
スタンバイ状態で点灯	RGB 1、2端子または3端子に信号が入力されている状態。
映像投写中に点灯	入力切り換えで選択した入力端子に信号が入力されている状態。

位置を自動補正する (AUTO SETUP)

本機には、投写映像の位置を自動的に補正できる機能があります。

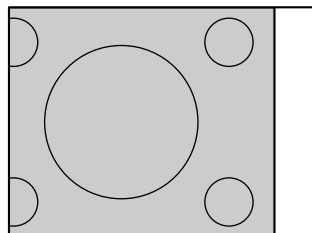


本体操作部

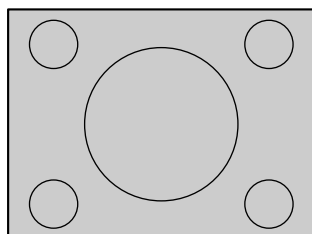


オートセットアップボタンを押す。 (AUTO SETUP)

投写映像の位置がずれている場合



● 自動位置補正を行います。

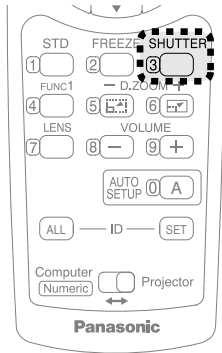


お知らせ

- 自動入力サーチも実行されます。(「自動入力サーチ」を「オン」に設定時 (P.47ページ))
- RGB信号では、位置の補正の他にドットクロック、クロックフェーズも自動設定を行います。ただし、ドットクロック108MHz以上の信号の場合は、自動設定されません。(P.42、43ページ)
- DVI信号では、自動補正を行いません。
- 画像の端が判らないような画像や暗い画像を入力してオートセットアップを動作させると自動的に処理が中断されることがあります。このような場合は、別の画像に切り換えてからもう一度オートセットアップ (AUTO SETUP) ボタンを押してください。

映像・音声を一時的に消す (SHUTTER)

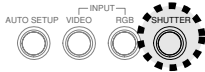
会議の休憩時間や準備などの一定時間だけ本機を使用しない場合には、映像と音声を一時的に消して、消費電力を少なくすることができます。



シャッターボタンを押す。 (SHUTTER)

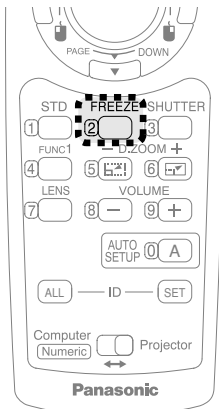
- 映像と音声が消えます。
- リモコンまたは本体操作部のいずれかのボタンを押せば元に戻ります。

本体操作部

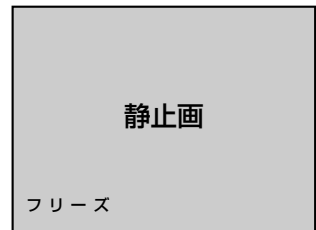


便利な機能

映像を静止させる (FREEZE)

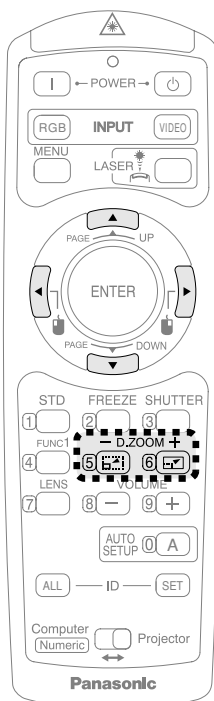


フリーズボタンを押す。 (FREEZE)



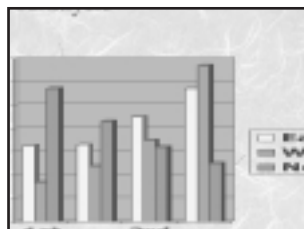
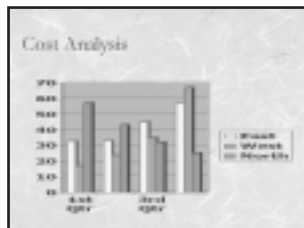
- 投写中の映像が静止します。
- もう一度、フリーズボタンを押せば、静止状態を解除できます。

映像を拡大する (D.ZOOM)



デジタルズーム(+、-)ボタンを押す。
(D.ZOOM)

- 映像の中心を1.5倍に拡大した画面になります。



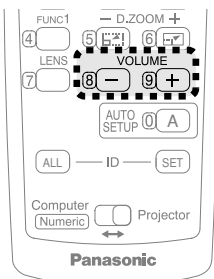
デジタルズーム中のボタン機能

- ▲▼◀▶ ボタンで拡大したい部分へ移動。
- デジタルズーム(+、-)ボタンで拡大倍率の変更。
- メニュー(MENU)ボタンで元の画面に戻す。

お知らせ

- 倍率は1.0倍から4.0倍まで0.1ごとに調整できます。
- デジタルズーム中に入力信号の種類が変わると、デジタルズーム機能が解除されます。

音量を調整する (VOLUME)



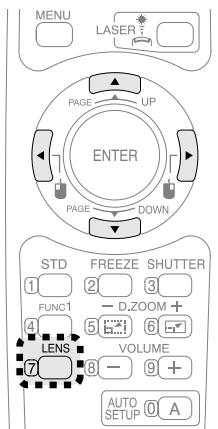
ボリューム(+、-)ボタンを押す。
(VOLUME)

- +ボタン ……音量大
- -ボタン ……音量小

お知らせ

- 「音声」メニューの「音量」からも調整できます。

ズーム/フォーカスを調整する



レンズボタンを押す。
(LENS)



←→ズーム ↑↓フォーカス

- ◀▶ ボタンで映像サイズの調整をすることができます。
- ▲▼ ボタンでフォーカスの調整をすることができます。

本体のフォーカス (FOCUS+/-) ボタン・ズーム (ZOOM+/-) ボタン又はフォーカスリングでも調整することができます。(微調整はフォーカス (FOCUS+/-) ボタンで行ってください。)

お知らせ

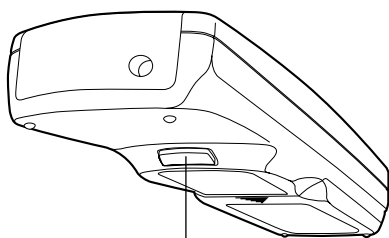
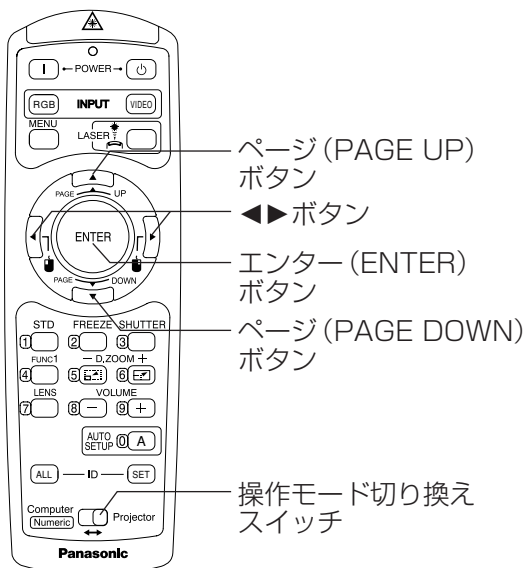
- 「レンズ」メニューの「ズーム/フォーカス」も同じ機能です。(P.50ページ)

便利な機能

ワイヤレスマウス機能

別売のワイヤレスレシーバー (TW-RMRC2) をパソコンに接続すると、リモコンをパソコンのワイヤレスマウスとして使用できます。

- Windowsに標準で付属するマウスドライバでそのまま使うことができます。(98SE、Me、2000、XP)
マウスドライバのインストールが必要な場合は、各OSに付属の取扱説明書を参照してインストールしてください。



クリックボタン

操作モード切り換えスイッチ
コンピューター (Computer) 側に切り換えます。

- ページ (PAGE UP) ボタン**
∧ : パソコンのキーボード Page Upとして使用できます。
- ページ (PAGE DOWN) ボタン**
∨ : パソコンのキーボード Page Downとして使用できます。
- エンター (ENTER) ボタン**
マウスカーソルを上下左右に移動できます。
- ◀▶ ボタン**
マウスの左ボタン/右ボタンとして使用できます。
- クリックボタン**
マウスの左ボタンとして使用できます。

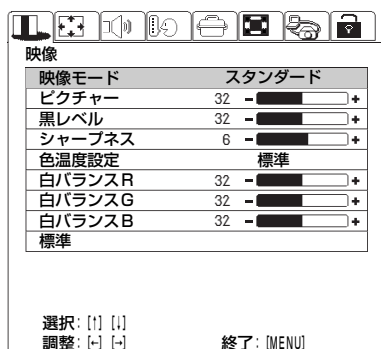
オンスクリーンメニューについて

メニュー画面一覧

本機では、各種設定や調整および変更はメニュー操作によって実行されます。本機のメニュー全体の構成は下図のとおりです。

映像 (39ページ)

RGB/DVI信号入力時

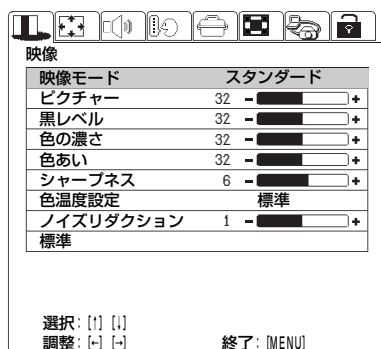


映像

映像モード	スタンダード
ピクチャー	32 - [] +
黒レベル	32 - [] +
シャープネス	6 - [] +
色温度設定	標準
白バランスR	32 - [] +
白バランスG	32 - [] +
白バランスB	32 - [] +
標準	

選択: [1] [1]
調整: [-] [-] 終了: [MENU]

YPbPr信号入力時

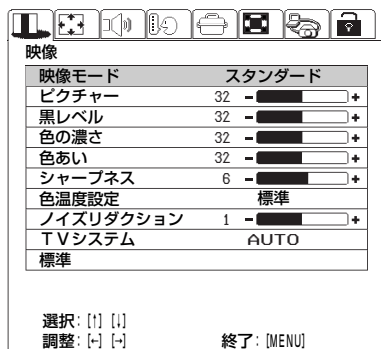


映像

映像モード	スタンダード
ピクチャー	32 - [] +
黒レベル	32 - [] +
色の濃さ	32 - [] +
色あい	32 - [] +
シャープネス	6 - [] +
色温度設定	標準
ノイズリダクション	1 - [] +
標準	

選択: [1] [1]
調整: [-] [-] 終了: [MENU]

Sビデオ/ビデオ信号入力時



映像

映像モード	スタンダード
ピクチャー	32 - [] +
黒レベル	32 - [] +
色の濃さ	32 - [] +
色あい	32 - [] +
シャープネス	6 - [] +
色温度設定	標準
ノイズリダクション	1 - [] +
TVシステム	AUTO
標準	


選択: [1] [1]
調整: [-] [-] 終了: [MENU]

お知らせ

- オンスクリーン画面に台形補正は機能しません。
- 入力される信号によっては、調整できない項目や使用できない機能があります。調整または使用できない状態のときは、オンスクリーンの項目が白色で表示され、実行できません。

ポジション (🔊 42ページ)

RGB/DVI信号入力時




ポジション

ポジション	水平: 128	垂直: 32
ドットクロック	32	- [Progress Bar] +
クロックフェーズ	16	- [Progress Bar] +
台形補正	横: 0	縦: 0
OSD表示位置	左上	
リサイズング	オフ	オン
自動位置補正		
フレームロック	オフ	オン
標準		

選択: [↑] [↓] 実行: [ENTER]
 終了: [MENU]

※「ポジション」「ドットクロック」「クロックフェーズ」は、DVI信号入力時には表示されません。

Sビデオ/ビデオ信号入力時




ポジション

ポジション	水平: 32	垂直: 16
台形補正	横: 0	縦: 0
OSD表示位置	左上	
アスペクト	AUTO	
リサイズング	オフ	オン
自動位置補正		
標準		

選択: [↑] [↓] 実行: [ENTER]
 終了: [MENU]

音声 (🔊 46ページ)




音声

音量	20	- [Progress Bar] +
ミュート	オフ	オン

選択: [↑] [↓] 実行: [ENTER]
 調整: [-] [+]

YPbPr信号入力時



ポジション

ポジション	水平: 32	垂直: 32
クロックフェーズ	16	- [Progress Bar] +
台形補正	横: 0	縦: 0
OSD表示位置	左上	
アスペクト	4:3	
リサイズング	オフ	オン
自動位置補正		
標準		

選択: [↑] [↓] 実行: [ENTER]
 終了: [MENU]

言語 (🔊 46ページ)



言語

ENGLISH	ESPAÑOL	日本語
DEUTSCH	ITALIANO	中文
FRANÇAIS	РУССКИЙ	한국어

選択: [↑] [↓] 終了: [MENU]
 選択: [-] [+]

オプション (☞ 47ページ)

オプション		
OSD表示	オフ	オン
自動入力サーチ	オフ	オン
入力自動セットアップ	オフ	オン
RGB?入出力選択	入力	出力
RGB/YPbPr	RGB	YPbPr
VGA60/480p	VGA60	480p
バックカラー	ブルー	ブラック
シネマリアリティ	オフ	オン
次ページ ↓		

選択: [1] [1]
調整: [-] [-] 終了: [MENU]

オプション		
前ページ ↑		
投写方式1	フロント	リア
投写方式2	フロア	シーリング
ファン制御	標準	高
ランプ出力	低	高
ランプ時間		10 時間
FUNC1設定	ミュート	台形補正
操作キー	オフ	オン
I D設定		オール
オートパワーオフ		無効

選択: [1] [1]
調整: [-] [-] 終了: [MENU]

※「RGB/YPbPr」は、RGB/YPbPr信号入力時に表示されます。

レンズ (☞ 50ページ)

レンズ	
ズーム/フォーカス	
レンズ選択	標準

選択: [1] [1]
調整: [-] [-] 終了: [MENU]

ネットワーク設定 (☞ 50ページ)

ネットワーク設定	
ネットワーク	LAN1
ホスト名	PROJECTOR
WEB制御	オフ オン
WEB電源	オフ オン
WEBパスワード	
MACアドレス	00:0B:97:41:00:00

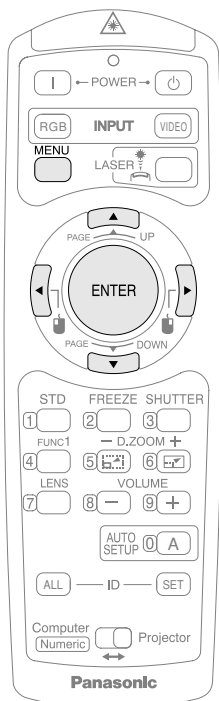
選択: [1] [1] 実行: [ENTER]
調整: [-] [-] 終了: [MENU]

セキュリティ (☞ 51ページ)

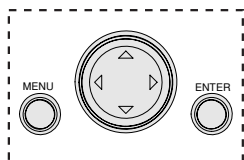
セキュリティ		
パスワード設定	無効	有効
パスワード変更		
テキスト表示	オフ	オン
テキスト変更		
ロゴ表示	オフ	オン
ロゴクリア		
ロゴキャプチャ		

選択: [1] [1]
調整: [-] [-] 終了: [MENU]

メニュー画面の操作方法



本体操作部



お知らせ

- メニュー画面が表示されている状態でメニュー (MENU) ボタンを押すと前の画面に戻ります。

① メニューボタンを押す。

(MENU)

- メニュー画面を表示します。

映像	
映像モード	スタンダード
ピクチャー	32 - [] +
黒レベル	32 - [] +
シャープネス	6 - [] +
色温度設定	標準
白バランスR	32 - [] +
白バランスG	32 - [] +
白バランスB	32 - [] +
標準	

選択: [↑] [↓]
 終了: [MENU]

② ◀または▶ボタンを押して各メニューを選ぶ。

- 選択したメニューが表示されます。(例: ポジション)

ポジション	
ポジション	水平: 128 垂直: 32
ドットクロック	32 - [] +
クロックフェーズ	16 - [] +
台形補正	横: 0 縦: 0
OSD表示位置	左上
リサイジング	オフ オン
自動位置補正	
フレームロック	オフ オン
標準	

選択: [↑] [↓]
 終了: [MENU]

③ ▼ボタンを押して決定する。

- 各設定・調整項目が選択できるようになります。選択中の項目は黄色色で表示します。

ポジション	
ポジション	水平: 128 垂直: 32
ドットクロック	32 - [] +
クロックフェーズ	16 - [] +
台形補正	横: 0 縦: 0
OSD表示位置	左上
リサイジング	オフ オン
自動位置補正	
フレームロック	オフ オン
標準	

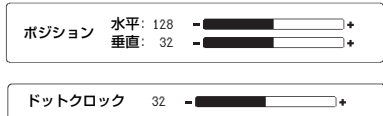
選択: [↑] [↓] 実行: [ENTER]
 終了: [MENU]

④ ▲または▼ボタンを押して項目を選ぶ。



① 調整項目の場合

エンター (ENTER) ボタンを押せば、個別調整画面が表示されます。



◀または▶ボタンを押して調整します。▲▼ボタンで調整できる項目もあります。

バースケールのある項目では、メニュー画面上で◀または▶ボタンを押しても調整できます。

② 設定項目の場合



◀または▶ボタンを押して切り換えます。

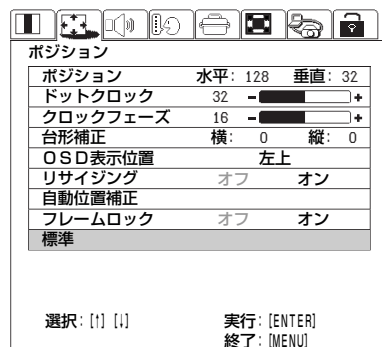
③ 項目名のみの場合

エンター (ENTER) ボタンを押して実行します。

調整値を工場出荷設定に戻す

リモコンのスタンダード(STD)ボタンを押すと、調整値が工場出荷状態に戻ります。ただし、表示されている画面によって動作が異なります。

• メニュー画面表示時



表示されている項目がすべて工場出荷時の状態に戻ります。

お知らせ

- ▲▼ボタンで「標準」を選択し、エンター(ENTER)ボタンを押しても同じです。

• 個別調整画面表示時




調整中の項目のみ工場出荷時の状態に戻ります。

映像を調整する

本体操作部またはリモコンの▲▼ボタンで項目を選択し、◀▶ボタンで設定を切り換えます。

バースケールのある項目については、エンター(ENTER)または◀▶ボタンを押して調整画面を表示させてから◀▶ボタンで調整してください。

RGB/DVI信号入力時




映像

映像モード	スタンダード
ピクチャー	32 - [] +
黒レベル	32 - [] +
色の濃さ	32 - [] +
色あい	32 - [] +
シャープネス	6 - [] +
色温度設定	標準
白バランスR	32 - [] +
白バランスG	32 - [] +
白バランスB	32 - [] +
標準	

選択: [1] [1]
調整: [-] [-] 終了: [MENU]

YPbPr信号入力時




映像

映像モード	スタンダード
ピクチャー	32 - [] +
黒レベル	32 - [] +
色の濃さ	32 - [] +
色あい	32 - [] +
シャープネス	6 - [] +
色温度設定	標準
ノイズリダクション	1 - [] +
標準	

選択: [1] [1]
調整: [-] [-] 終了: [MENU]

Sビデオ/ビデオ信号入力時



映像

映像モード	スタンダード
ピクチャー	32 - [] +
黒レベル	32 - [] +
色の濃さ	32 - [] +
色あい	32 - [] +
シャープネス	6 - [] +
色温度設定	標準
ノイズリダクション	1 - [] +
TVシステム	AUTO
標準	

選択: [1] [1]
調整: [-] [-] 終了: [MENU]

映像モード



映像ソースや部屋の環境に合わせて見やすい映像に切り換えることができます。

標準的な明るさで使用する場合は「スタンダード」に、明るい場所で使用する場合は「ダイナミック」に、暗い部屋で使用する場合は「ナチュラル」に設定してください。

ピクチャー

色の明暗度を調整します。(黒レベルを先に調整してください。)

明るい場合: ◀ボタン

暗い場合: ▶ボタン

黒レベル

画面の暗い部分(黒色)を調整します。

黒が浮いている場合: ◀ボタン

黒がつぶれている場合: ▶ボタン

色の濃さ

(Sビデオ/ビデオ/YPbPrのみ)

色が濃い場合： ◀ ボタン

色がうすい場合： ▶ ボタン

色あい

(NTSC/NTSC4.43/YPbPrのみ)

肌色の部分を調整します。

緑色がかった色の場合： ◀ ボタン

赤紫色がかった色の場合： ▶ ボタン

シャープネス

やわらかい感じにしたい場合： ◀ ボタン

はっきりきわだたせる場合： ▶ ボタン

色温度設定



映像の白色部分が青みがかったり、赤みがかったりする場合に切り換えてください。

ノイズリダクション

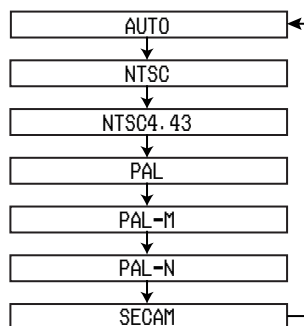
(Sビデオ/ビデオ/YPbPr [480i、576i信号] を入力時のみ)

入力された信号が劣化しているため映像にノイズが発生している場合にノイズを抑える調整ができます。

ノイズリダクションの効果を強くする場合は、▶ ボタンを押してください。ノイズリダクションをオフにしたい場合は、◀ ボタンを押して「0」に設定してください。

TVシステム

(Sビデオ/ビデオのみ)



通常は「AUTO」に設定します。信号が劣化しているために正常に映らない場合はそれぞれのTVシステムに設定を変えてください。

お知らせ

- 「AUTO」は、NTSC/NTSC4.43/PAL/PAL60/PAL-M/PAL-N/SECAMの中から自動的に判別します。

白バランスR/G/B

(RGBのみ)

映像の白色部分に色がついているような場合に調整します。

選択した色を弱くしたい場合：◀ボタン

選択した色を強くしたい場合：▶ボタン

sRGBに対応した映像にするには

sRGBとは、IEC(International Electrotechnical Commission)で定められた色再現国際規格(IEC61966-2-1)です。sRGBに対応した、より忠実な色を再現させたい場合は、下記の手順で設定を行ってください。

- ① ▲▼ボタンを押し「映像モード」を選択し、◀▶ボタンで「ナチュラル」に設定する。
- ② ▲▼ボタンを押し「色温度設定」を選択し、◀▶ボタンで「標準」に設定する。
- ③ リモコンのスタンダード(STD)ボタンを押す。
- ④ 47ページの「オプション」メニューから、▲▼ボタンを押し「ランプ出力」を選択し、◀▶ボタンで「高」に設定する。

お知らせ

- RGB信号入力時のみ、sRGBに対応します。

画面位置を調整する

パソコンなどのRGB信号入力時は、まずオートセットアップ(AUTO SETUP)ボタンを押し、自動位置補正を行ってください。自動位置補正を行っても最適な設定にならない場合は、以下の調整を行ってください。

本体操作部またはリモコンの▲▼ボタンで項目を選択します。

設定項目の場合、◀▶ボタンを押せば設定を切り換えることができます。

調整項目の場合、エンター(ENTER)ボタンを押せば、個別調整画面が表示され、◀▶ボタンを押して調整できます。

▲▼ボタンで調整できる項目もあります。

RGB/DVI信号入力時



ポジション

ポジション	水平: 128	垂直: 32
ドットクロック	32	- [] +
クロックフェーズ	16	- [] +
台形補正	横: 0	縦: 0
OSD表示位置	左上	
リサイジング	オフ	オン
自動位置補正		
フレームロック	オフ	オン
標準		

選択: [↑] [↓] 実行: [ENTER]
終了: [MENU]

※「ポジション」「ドットクロック」「クロックフェーズ」は、DVI信号入力時には表示されません。

YPbPr信号入力時



ポジション

ポジション	水平: 64	垂直: 16
クロックフェーズ	16	- [] +
台形補正	横: 0	縦: 0
OSD表示位置	左上	
アスペクト	4:3	
リサイジング	オフ	オン
自動位置補正		
標準		

選択: [↑] [↓] 実行: [ENTER]
終了: [MENU]

Sビデオ/ビデオ信号入力時



ポジション

ポジション	水平: 32	垂直: 16
台形補正	横: 0	縦: 0
OSD表示位置	左上	
アスペクト	AUTO	
リサイジング	オフ	オン
自動位置補正		
標準		

選択: [↑] [↓] 実行: [ENTER]
終了: [MENU]

ポジション

映像の表示位置を移動させることができます。

◀▶ボタンで水平位置の移動、

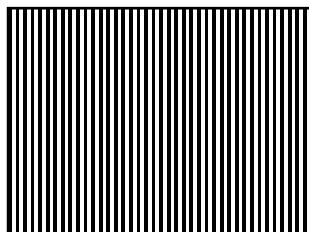
▲▼ボタンで垂直位置の移動が行えます。

ポジション 水平: 128 - [] +
 垂直: 32 - [] +

ドットクロック

(RGB/YPbPrのみ)

下記のような縞模様を投写した場合に、周期的な縞模様(ノイズ)が発生する場合があります。この場合に◀▶ボタンでもっともノイズが少なくなるように調整してください。



クロックフェーズ

(RGB／YPbPrのみ)

「ドットクロック」を調整した後に、この調整を行ってください。◀▶ボタンでもっともノイズが目立たなくなるように調整してください。



お知らせ




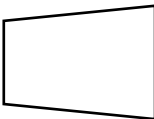
- ドットクロック周波数が108 MHz以上の信号を投写時は、「ドットクロック」や「クロックフェーズ」を調整してもノイズがなくなる場合があります。

台形補正

台形補正を行う前に、25ページのアジャスターボタンでの本機の傾き調整と、オートセットアップボタンでの自動位置補正を行ってください。

スクリーンが傾いている場合や横方向の台形ひずみがある場合は、次の画面の状態に合わせて操作してください。

台形補正 横: 0 -  +
縦: 0 -  +

画面の状態	操作
	▲ボタンを押す
	▼ボタンを押す
	◀ボタンを押す
	▶ボタンを押す

お知らせ

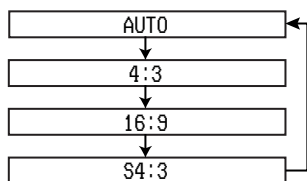
- 台形ひずみは、補正量が多くなればなるほど画質が劣化し、フォーカスが合いにくくなります。なるべく、よい画質で投写したい場合はできるだけ補正量が少なくなるように設置してください。
- 台形補正を行うと画像サイズも変化します。
- 入力する信号の種類によって、補正量の範囲が異なります。(無信号入力時も含む) 範囲を超えると調整値が動かなくなります。また、台形補正を行った後で入力信号を変えると補正が解除されることがあります。これは、この信号での補正範囲を超えていることを示しています。
- 縦方向と横方向の補正を同時に行うと補正量は少なくなります。範囲を超えると調整値が動かなくなります。
- 補正量によっては、画像の縦横比がずれる場合があります。

OSD表示位置

◀▶ ボタンでオンスクリーンメニューの表示位置を変更することができます。

アスペクト

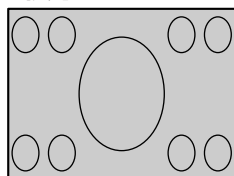
ビデオ/Sビデオ信号時
YPbPr信号時 (480i、576i、480p、576p信号のみ)



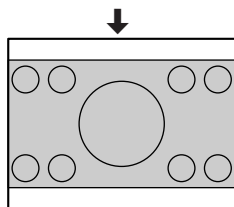
「AUTO」 (Sビデオのみ)
Sビデオ端子にS1映像信号が入力されると自動的に16:9の映像投写に切り換わります。

「4:3」 入力された信号をそのまま投写します。

「16:9」 16:9に映像を圧縮して投写します。



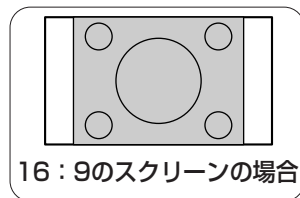
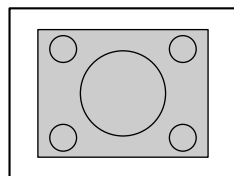
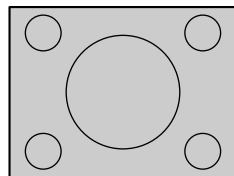
入力信号がスクイーズ (横方向に圧縮された) 信号の場合



「S4:3」

入力された信号のサイズを75%に圧縮して投写します。(16:9スクリーンに4:3映像を投写する場合に有効です。)

入力信号が4:3信号の場合



16:9のスクリーンの場合

S1映像信号とは

- S1映像信号とは、ワイド対応ビデオデッキなどから出力される検知信号が付加されている16:9の映像信号です。
- 上記の設定を「AUTO」にしていれば、本機は検知信号を検出し、自動的に16:9に変換して映像を投写します。

お願い

- 本機はアスペクト比切り換え機能を備えています。入力信号と異なるアスペクト比を選択されると、オリジナルの映像と見えかたに差が出ます。この点にご留意の上、アスペクト比をお選びください。
- 本機を営利目的、または公衆に視聴させることを目的として、喫茶店、ホテル等において、アスペクト比切り換え(16:9)を利用して、画面の圧縮や引き伸ばし等を行いますと、著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害する恐れがありますので、ご注意願います。
- ワイド映像ではない従来(通常)の4:3の映像をワイド画面で投写すると、周辺画像が一部見えなくなったり、変形して見えます。制作者の意図を尊重したオリジナルな映像は、4:3の映像をご覧ください。

リサイジング

通常は「オン」に設定してください。(液晶パネルよりも画素数が少ない信号のみ。☞ 69ページ)

「オン」 入力信号の画素数を液晶パネルの画素数に変換して表示します。画素数の少ない信号でも足りない画素を自動的に補って投写します。映像によっては見えづらくなる場合があります。

「オフ」 画素変換を行わず、映像信号の画素数をそのまま投写します。映像が小さく投写されますので、ズームを調整するか設置位置を前後させて調整してください。

また、デジタルズームや台形補正などができなくなります。

自動位置補正

本体操作部またはリモコンのオートセットアップ(AUTO SETUP)ボタンを押したときと同じ機能です。(☞ 28ページ)

フレームロック

一部のRGB信号の動画再生時に映像が乱れる場合に「オン」に設定してください。対応しているRGB信号については69ページをご覧ください。

音声を調整する

本体操作部またはリモコンの▲▼ボタンで項目を選択します。



音量

◀▶ ボタンを押すと音量の調整ができます。

ミュート

◀▶ ボタンを押して「オン」に設定すれば音声が消えます。

解除したい場合は、◀▶ ボタンを押して「オフ」に設定してください。

表示言語を切り換える

本体操作部またはリモコンの▲▼◀▶ボタンで言語を選択し、エンター (ENTER) ボタンを押してください。



オプション設定

本体操作部またはリモコンの▲▼ボタンで項目を選択し、◀▶ボタンを押して設定を切り換えてください。

オプション		
OSD表示	オフ	オン
自動入力サーチ	オフ	オン
入力自動セットアップ	オフ	オン
RGB2入出力選択	入力	出力
RGB/Y/PbPr	RGB	YPbPr
VGA 60/480p	VGA 60	480p
バックカラー	ブルー	ブラック
シネマリアリティ	オフ	オン
次ページ ↓		

選択: [1] [1]
調整: [-] [-] 終了: [MENU]

オプション		
前ページ ↑		
投写方式1	フロント	リア
投写方式2	フロア	シーリング
ファン制御	標準	高
ランプ出力	低	高
ランプ時間		10 時間
FUNC1設定	ミュート	台形補正
操作キー	オフ	オン
ID設定		オール
オートパワーオフ		無効

選択: [1] [1]
調整: [-] [-] 終了: [MENU]

OSD表示

「オン」 入力信号切り換え時に入力名を画面右上に表示します。

「オフ」 入力名を表示させたくない場合に設定してください。

お知らせ

- ビデオ/Sビデオ信号入力時は、TVシステムの設定値も表示されます。

自動入力サーチ

「オン」 入力切り換え (RGB、VIDEO) ボタンを数秒押し続けると自動的に入力されている信号を探し、切り換えることができます。
(16ページ)

「オフ」 上記の機能を無効にします。

お知らせ

- 自動入力サーチは、入力された信号を投写中の場合は動作しません。

入力自動セットアップ

通常は「オン」に設定してください。

「オン」 投写中の映像信号が変わった場合に自動的にオートセットアップを行います。
(28ページ)

「オフ」 投写中の映像信号が変わってもオートセットアップは行いません。

RGB2入出力選択

RGB2入力/RGB出力(RGB2 IN/RGB OUT)端子で信号を入力するか、出力するかを切り換えます。

RGB/Y/PbPr

480i、576i、480p、576p、1080/60i、1080/50i、720/60p信号を入力した場合に設定できます。入力する信号に合わせて設定してください。RGB1、2端子または3端子に信号が入力されている場合に表示されます。

VGA60/480p

69ページの表中にあるVGA480の59.9 Hzで入力する場合、「VGA60」に設定してください。

480pのRGBで入力する場合、「480p」に設定してください。

バックカラー

本機に信号が入力されていない時のバック画面の色を設定します。

シネマリアリティ

(Sビデオ／ビデオ／YPbPr [480i, 576i信号] を入力時のみ)

「オン」 映画など毎秒24コマの撮影映像を忠実に映したいときに設定してください。

「オフ」 「オン」の設定で不自然な映像になる場合は「オフ」に設定してください。

投写方式 1

本機の設置方法によって切り換えます。(☞ 18ページ)

「フロント」 スクリーンの前方に設置する場合。

「リア」 透過式スクリーンを使用する場合。

投写方式 2

本機の設置方法によって切り換えます。(☞ 18ページ)

「フロア」 机の上などに設置する場合。

「シーリング」 天つり金具（別売品）を使用して設置する場合。

ファン制御

海拔1 400 m以上でのご使用の場合のみ、「高」に設定してください。

ランプ出力

ランプの明るさを切り換えます。「低」に設定すると輝度が下がりますが電力の節約、動作音の低減、ランプの寿命を延ばすことができます。狭い会議室など高い輝度を必要としない場合は「低」に設定されることをおすすめします。

ランプ時間

現在使用中のランプの使用時間を表示します。ランプユニットを交換する場合は、57ページのランプユニットの交換手順どおりに交換し、ランプ使用時間を「0」にしてください。

お知らせ

- ランプの寿命は使用条件(「ランプ出力」の設定や電源の投入の回数など)により変わります。

FUNC1設定

リモコンのFUNC1ボタンの機能を設定します。

「ミュート」 音声メニューのミュートのオン／オフ切り換え機能になります。(☞ 46ページ)

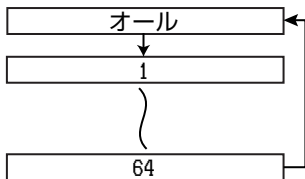
「台形補正」 ポジションメニューの「台形補正」を選択するのと同じ働きになります。(☞ 43ページ)

操作キー

16ページの本体操作部にあるボタン機能を無効にすることができます。無効にしたい場合は、「オフ」に設定してください。「オフ」に設定すると確認画面が表示されますので「実行」を選んでください。有効に戻したい場合は、リモコン操作で「オン」に設定してください。

ID設定

本機を複数台並べてご使用になる場合は、1つのリモコンで同時制御や個別制御することができます。



「オール」 IDナンバーに関係なくすべてのリモコンで本機を操作することができます。

「1」～「64」 本機と同じIDナンバーに設定したリモコンで本機を操作することができます。

お知らせ

- 工場出荷時は「オール」に設定されていますので1台だけのご使用の場合はIDナンバーの設定の必要はありません。
- IDナンバーを設定した場合はリモコンのIDナンバーを本体のIDナンバーに合わせる必要があります。
- 本体を複数台並べて設置してIDナンバー「オール」に設定していると、他のIDナンバーを設定した本機と分けて個別制御することができなくなります。
- 本体とリモコン本体のIDナンバーの設定を合わせないとリモコンを使用して電源(POWER)を入れることができません。リモコンのIDナンバー設定のしかたは23ページをご参照ください。

オートパワーオフ

設定時間まで信号が入力されないと自動的に本機をスタンバイ状態にすることができます。

15分から60分まで5分間隔で設定できます。オートパワーオフを使わない場合は「無効」に設定してください。

フリーズ機能使用時はオートパワーオフ機能は働きません。

お知らせ

- LANを使用してパソコンと通信している場合は、WEBスタンバイ状態となります。
(P.50ページ)

レンズを調整する

本体操作部またはリモコンの▲▼ボタンで項目を選択します。



ズーム/フォーカス

投写映像のサイズやフォーカスの調整をすることができます。

(31ページ)

レンズ選択

別売の投写レンズを装着した場合に
◀▶ ボタンで設定を変えてください。

「標準」 標準レンズ

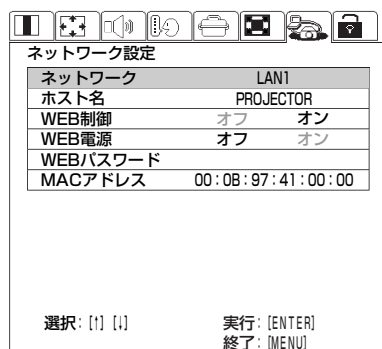
「長焦点」 長焦点ズーム (TY-LE30)

「中焦点」 中焦点ズーム (TY-LE20)

「短焦点」 短焦点ズーム (TY-LE10)

ネットワーク設定

パソコンと通信する場合に設定します。詳しくは、別冊のネットワーク機能編をご覧ください。



WEB電源

本機の状態がスタンバイ状態 (WEBスタンバイ) の時、接続しているパソコンから本機の電源を「ON」にしたい場合は「オン」に設定します。WEBスタンバイ時は冷却ファンが回転したまま電源モニターがゆっくりと赤色点滅します。

WEBパスワード

接続しているパソコンから本機を制御する際に入力するパスワードを設定することができます。

MACアドレス

ネットワーク機器が持つ特有のネットワークアドレス (Media Access Control Address) を表示します。DHCPサーバーを利用する時などに必要な場合があります。

ネットワーク

ネットワーク設定を切り換えたり、設定することができます。

ホスト名

本機のホスト名を設定することができます。

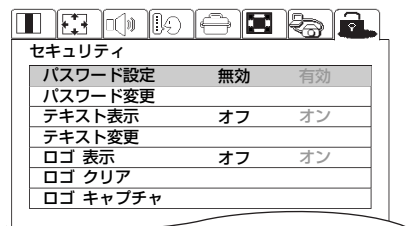
WEB制御

接続しているパソコンから本機を制御したい場合は「オン」に設定します。本機を制御させたくない場合は、「オフ」に設定します。

セキュリティの設定

本機のセキュリティ機能としてパスワード入力画面を表示させたり、投写している映像の下に会社のURL等を設定して表示させることができます。また、投写開始時にロゴを表示することもできます。

◀▶ ボタンで「セキュリティ」を選び、▼ ボタンを押します。



パスワード

OK: [ENTER] キャンセル: [MENU]

(はじめてご使用になる場合)

▲▶▼◀▶▲▶▼◀ ボタンを順に押し、エンター (ENTER) ボタンを押してください。

(以前にパスワードを変更された場合)
変更したパスワードを入力し、エンター (ENTER) ボタンを押してください。



パスワード設定

電源を入れた時にパスワード入力画面を表示させることができます。正しくパスワードを入力しない限り、電源 (POWER) ボタン以外の操作ができなくなります。

「有効」 パスワード入力を有効にします。

「無効」 パスワード入力を無効にします。

パスワード変更

パスワードを変更することができます。エンター (ENTER) ボタンを押してください。

新規

確認

確定: [ENTER] キャンセル: [MENU]

- ① ▲▼◀▶ ボタンでパスワードを設定する。(最大8つのボタンを設定できます。)
- ② エンター (ENTER) ボタンを押す。
- ③ 確認のため、再度パスワードを入力する。
- ④ エンター (ENTER) ボタンを押す。(設定終了)

お知らせ

- パスワードを入力しても画面上では、*印で表示されます。
- パスワードを間違えると画面上の「パスワード」や「新規」などの文字が赤色になります。再度パスワードを入力してください。

テキスト表示

投写中の映像の下に設定した文字を常時表示させることができます。

「オン」 テキスト表示を有効にします。

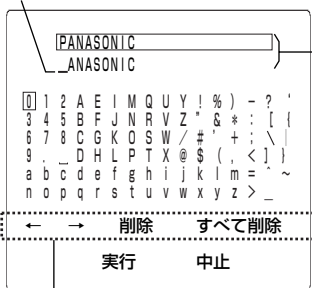
「オフ」 テキスト表示を無効にします。

テキスト変更

テキスト設定を「オン」にしたときに表示される文字を変更することができます。

エンター (ENTER) ボタンを押してください。

カーソル 上側：変更前の設定
下側：変更後の設定



編集用項目

① ▲▼◀▶ ボタンで文字を選び、エンター (ENTER) ボタンを押す。(20文字まで続けて入力することができます。)

〈編集用項目について〉

「←」…カーソルを左へ移動。

「→」…カーソルを右へ移動。

「削除」…カーソル上の文字を削除。

「すべて削除」…入力した文字をすべて削除

② ▲▼◀▶ ボタンで「実行」を選び、エンター (ENTER) ボタンを押す。

- 中止したい場合は「中止」を選んでください。

お知らせ

- テキスト変更で、入力できない文字はグレー表示され選択できません。

ロゴ表示

投写開始時にロゴの表示を行うことができます。

「オン」 □ロゴ表示を有効にします。

「オフ」 □ロゴ表示を無効にします。

ロゴクリア

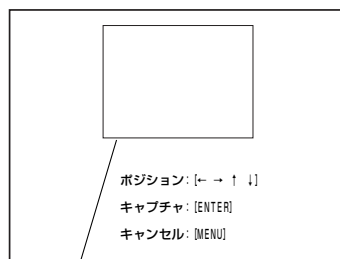
□ロゴキャプチャした□ロゴデータを消去できます。

エンター (ENTER) ボタンを押してください。確認画面が表示されますので「実行」を選んでください。

□ロゴキャプチャ

現在、表示されている映像から□ロゴとして取り込むことができます。

エンター (ENTER) ボタンを押すとキャプチャ調整画面が表示されます。



キャプチャ枠

① ▲▼◀▶ ボタンで取り込みたい位置へキャプチャ枠を移動する。

② エンター (ENTER) ボタンを押す。

- 「キャプチャ」と進行状況が表示されキャプチャが実行されます。

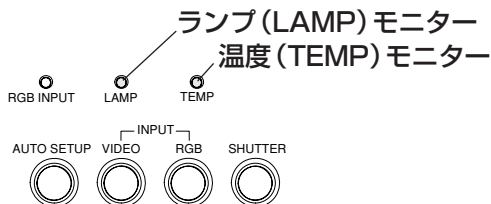
お知らせ

- 入力されている映像信号によってキャプチャ枠の大きさが変わります。
- 自然画など細かな映像は取り込みできない場合があります。
- RGB信号のみ取り込むことができます。ただし、480i、576i、480p、576p、1 080/60i、1 080/50i、720/60pの信号は取り込みできません。(☎ 69ページ)
- 取り込みできるサイズは、512×384ドットの画像です。
- □ロゴキャプチャは、XGAの信号を入力し、台形補正を0の状態で行うことをおすすめします。

温度、ランプモニターが点灯したら

(TEMP) (LAMP)

本機には内部の状態を知らせる温度(TEMP)とランプ(LAMP)のモニターランプがついています。本機内部に異常が発生すると点灯や点滅でお知らせしますので、電源を切り、次の処置をしてください。



温度(TEMP)モニター		
点灯状況	赤色点灯 (映像投写中)	赤色点滅 (スタンバイ状態)
現象	周囲温度または内部が高温になっている。	周囲温度または内部が異常に高温なため、ランプユニットが自動的に消灯した。
ここをお調べください	<ul style="list-style-type: none">通風孔がふさがれていませんか。気温の高いところで使用していませんか。エアフィルターが目づまりしていませんか。	
処置のしかた	<ul style="list-style-type: none">通風孔をふさいでいるものを取り除いてください。周囲温度0℃～40℃、周囲湿度20%～80%(非結露)の場所に設置してください。[48ページの「ファン制御」を「高」に設定している場合は、周囲温度0℃～35℃、周囲湿度20%～80%(非結露)の場所に設置してください。]26ページの手順で主電源(MAIN POWER)スイッチを切り、エアフィルターの清掃(55ページ)を行ってください。	

お願い

- 温度(TEMP)モニター、ランプ(LAMP)モニターの表示により処置を行うときの電源操作は26ページの電源の切りかたの手順を必ずお守りください。
- 温度(TEMP)モニターが点灯し、電源が切れた場合は、内部に異常が発生しています。販売店に修理をご依頼ください。

調整・設定

点検・お手入れ

ランプ(LAMP)モニター

点灯 状況	赤色点灯	赤色点滅	
現象	ランプユニットの交換時期を知らせている。	ランプ回路の異常を検知している	
ここを お調べ ください	<ul style="list-style-type: none"> 本機の電源を入れた時に「ランプ交換」というオンスクリーン表示がされていませんか。 	<ul style="list-style-type: none"> 電源を切ってからすぐに電源を入れなおしていませんか。 	<ul style="list-style-type: none"> ランプ回路に異常が発生していません。
処置の しかた	<ul style="list-style-type: none"> ランプユニットの使用時間が1350時間(ランプ出力「高」設定時)に達すると点灯します。ランプユニットの交換を行ってください。 	<ul style="list-style-type: none"> 光源ランプが冷えるまでしばらく待ってから電源を入れてください。 	<ul style="list-style-type: none"> 26ページの手順で主電源スイッチを切り、販売店にご相談ください。

エアフィルターの清掃・交換

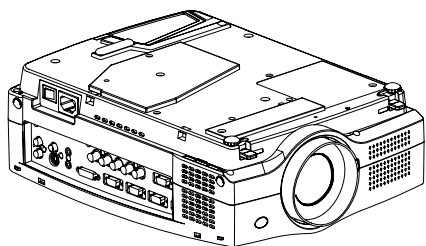
エアフィルターにほこりがたまり過ぎると、本機内部温度が高温になり、温度(TEMP)モニターが点滅し、電源が切れます。使用場所により異なりますがエアフィルター部の清掃は約100時間を目安に行ってください。

清掃手順

- ① 主電源を切り電源プラグをコンセントから抜く。

26ページの「電源を切る」の手順を守り、電源を切ってから電源プラグを抜いてください。

- ② 本機を静かに裏返す。

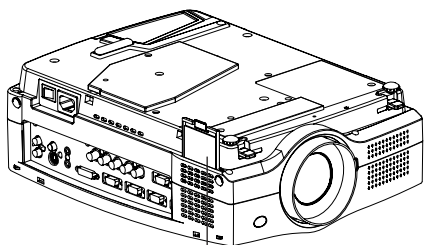


お願い

- 本機に傷がつかないように、毛布などの上に裏返して置いてください。

- ③ エアフィルターを外す。

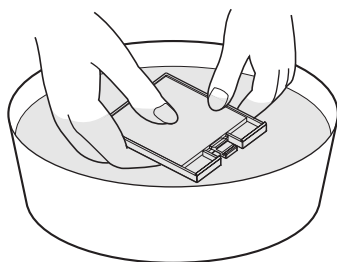
エアフィルターにつめをかけて本機から引き出します。



エアフィルター

- ④ エアフィルターを掃除する。

水につけて、手でほこりを洗い流してください。



お願い

- 中性洗剤などは、使用しないでください。
- フィルターが枠からはがれないように気をつけて洗ってください。

- ⑤ エアフィルターを乾燥させたあと取り付ける。

お願い

- エアフィルターは必ず取り付けてご使用ください。取り付けずに使用すると、ごみやほこりを吸い込み、故障の原因となります。

お知らせ

- 掃除をしてもほこりがとれなくなったらエアフィルターの交換時期です。販売店にご相談ください。また、ランプユニットの交換の際は、あわせてエアフィルターも交換ください。

ランプの交換



■ランプユニットの交換はランプが冷えてから(1時間以上待ってから)行う



カバー内部がかなり熱く、やけどの原因となります。

ランプユニット交換上のお願ひ

- 光源ランプはガラス部品ですので、堅い物に当てたり落下させたりすると破裂する場合があります。取り扱いにはご注意ください。
- 取り外した古いランプユニットは、蛍光灯と同様に処分してください。
- ランプユニットの交換にはプラスドライバーが必要です。

お知らせ

- ランプユニットは別売り部品です。販売店にご相談ください。
ランプユニット品番：ET-LA785(サービス部品扱い)
- 上記のランプ以外は使用しないでください。

ランプユニットの交換時期


ランプユニットは消耗部品です。使用時間の経過にともない、徐々に明るさが低下しますので、定期的な交換が必要です。

交換の目安は1 500時間ですが、ランプ個々の特性、使用条件、設置環境等の影響を受けて、1 500時間に達する前に点灯しなくなる場合があります。早めのランプユニットの準備をお勧めします。

1 500時間を過ぎると、ランプが破裂する可能性が高くなるため、約10分後自動的に消灯します。

お知らせ

- この説明で記載している使用時間は、「オプション」メニューの「ランプ出力」を「高」に設定して使用された場合の時間です。「ランプ出力」を「低」に設定して使用されますと、長くランプを使用することができます。
- 1 500時間は交換の目安であり、保証時間ではありません。保証時間については、75ページや保証書をご覧ください。

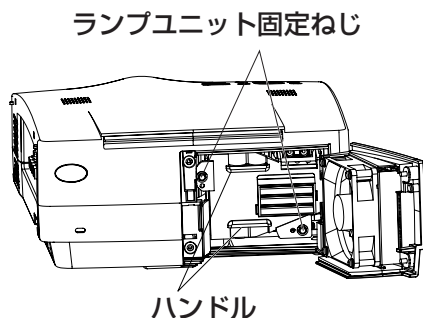
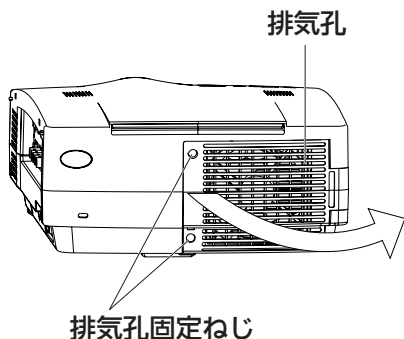
	オンスクリーン表示	ランプ(LAMP)モニター
	ランプ交換	LAMP 
1 350時間以降	30秒間表示されます。 いずれかのボタンを押せば表示が消えます。	スタンバイ状態も含め赤色に点灯します。
1 500時間以降	いずれかのボタンを押さない限り表示が消えません。	

ランプユニットの交換手順

お願い

- ランプユニットの使用時間が1 500時間(ランプ出力「高」設定時)を越えた場合は、電源を入れてから約10分間のみの本機を動作させることができます。手順⑦～⑪の操作を10分以内に行ってください。

- 26ページの「電源を切る」の手順を守り、主電源(MAIN POWER)スイッチを切った後、コンセントから電源プラグを抜き、ランプユニット近辺が冷えていることを確認する。
- 本機後面の排気孔の固定ねじ(2本)をプラスドライバーで回し、排気孔を開ける。
- ランプユニットを固定しているねじ(2本)をプラスドライバーで空回りするまで回し、ランプユニットのハンドルを持ち、ゆっくりと本機から引き出す。



- ④ 新しいランプユニットを挿入方向に注意して押し込み、ランプユニット固定ねじをプラスドライバーでしっかりと締めつける。
- ⑤ 排気孔を閉じ、固定ねじ(2本)をプラスドライバーでしっかりと締めつける。

お願い

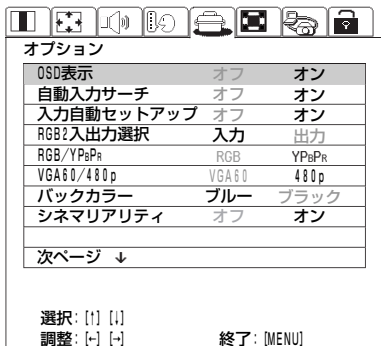
- ランプユニットや、排気孔は確実に取り付けてください。ランプユニットや排気孔の取り付けが不完全だと、保護回路が動作し電源が入りません。

- ⑥ 電源プラグをコンセントに差し込んで、主電源(MAIN POWER)スイッチを入れる。

お願い

- 主電源(MAIN POWER)スイッチを「ON」にしても電源が入らない場合は、一度、主電源(MAIN POWER)スイッチを「OFF」にし、ランプユニットや排気孔の取り付けを確認後、再度「ON」にしてください。

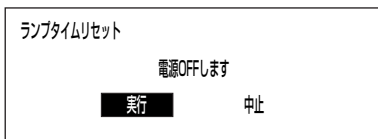
- ⑦ 電源(POWER)ボタンを押し、映像投写を開始する。
- ⑧ メニュー(MENU)ボタンを押し、メニュー画面を表示させ、◀▶ボタンでオプションメニューを選ぶ。



- ⑨ エンター(ENTER)ボタンを押し、▲▼ボタンで「ランプ時間」の項を選択する。



- ⑩ エンター(ENTER)ボタンを約3秒間押し続ける。



「ランプタイムリセット」画面が表示されます。

- ⑪ ◀▶ボタンで「実行」を選択し、エンター(ENTER)ボタンを押し、ランプ使用時間が「0」にリセットされ、スタンバイ状態になります。

お知らせ

- 「中止」を選べば、ランプタイムリセットの設定が解除されます。

修理を依頼される前に

もう一度次の点をお調べください。

症状	ここをお調べください	ページ
電源が入らない	<ul style="list-style-type: none"> 電源プラグがコンセントにしっかり差し込まれていますか。 主電源(MAIN POWER)スイッチが「切」になっていませんか。 コンセントに電源がきていますか。 温度(TEMP)またはランプ(LAMP)モニターが点灯または点滅していませんか。 ランプユニット収納扉は完全に取り付けられていますか。 	— — — 53、54 58
映像がでない	<ul style="list-style-type: none"> 映像入力は正しく接続されていますか。 入力切り換えの設定が正しくなっていますか。 黒レベル調整が最小になっていませんか。 本機に接続している機器は正常に動作していますか。 シャッター機能を使用していませんか。 	— 25 39 — 29
映像がボヤけている	<ul style="list-style-type: none"> レンズキャップがかぶさったままではありませんか。 レンズのフォーカスは合っていますか。 投写距離は適切ですか。 レンズが汚れていませんか。 本機がスクリーンに対して直角に設置されていますか。 	— 25、31 19 — 19
色が薄い／色あいが悪い	<ul style="list-style-type: none"> 色の濃さ、色あいは正しく調整されていますか。 本機に接続している機器は正しく調整されていますか。 	40 —
音が出ない	<ul style="list-style-type: none"> 音声入力は正しく接続されていますか。 音量調整が最小になっていませんか。 音声出力(AUDIO OUT)端子に、ケーブルが接続されていませんか。 音声ミュートに設定していませんか。 	— 30、46 15 46
リモコンが働かない	<ul style="list-style-type: none"> 電池が消耗していませんか。 極性は正しくセットされていますか。 リモコンと本機のリモコン受光部の間に障害物はありませんか。 リモコン有効範囲をこえた場所でリモコンを操作していませんか。 蛍光灯などの影響を受けていませんか。 	— 22 22 22 22
本体操作部のボタンが働かない	<ul style="list-style-type: none"> 「操作キー」の設定が「オフ」になっていませんか。 「オフ」に設定したあとにリモコンを紛失した場合などには、本体操作部のエンター(ENTER)ボタンを押しながらメニュー(MENU)ボタンを2秒以上押せば設定を「オン」に戻すことができます。 	49

症状	ここをお調べください	ページ
正常な映像が映らない	<ul style="list-style-type: none"> • 信号方式(TVシステム)の選択は正しく行われていますか。 • ビデオテープ等ソース側に異常はありませんか。 • 本機が対応できない信号を入力していませんか。 	40 — 69
パソコンからの映像が映らない	<ul style="list-style-type: none"> • ケーブルが長すぎませんか。 • ノートパソコンの外部映像出力が、正しく設定されていますか。(例：「Fn」 + 「F3」あるいは「Fn」 + 「F10」 ボタンを同時に押し、外部出力設定が切り替わる場合があります。パソコンの機種によって異なりますので、パソコンに付属の説明書をご覧ください。) • RGB入力モニターが消灯している場合は、パソコンから信号が出力されていないことが考えられます。 • RGB2入力/RGB出力(RGB2 IN/RGB OUT)端子に信号を入力されている場合に、「オプション」メニューの「RGB2 入出力選択」を「出力」にしていませんか。 	— — 16、 27 47

お掃除とお手入れ

必ず電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。

キャビネットは柔らかい乾いた布で

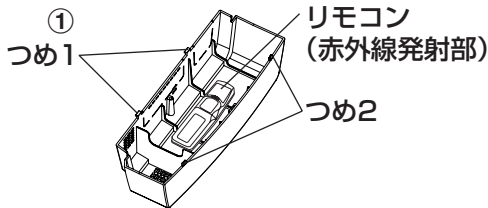
汚れがひどいときは水で薄めた台所用洗剤(中性)にひたした布をよく絞ってふき取り、乾いた布で仕上げてください。化学ぞうきんをご使用の際はその注意書に従ってください。

レンズ面は毛羽だつ布やほこりのついた布でふかないでください

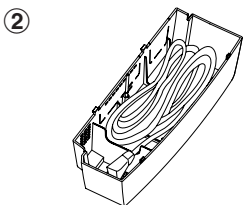
レンズにゴミやほこりが付着しますとスクリーン面へ、ゴミやほこりが拡大されて映ります。やわらかいきれいな布でふいてください。

電源コード・リモコンを収納する

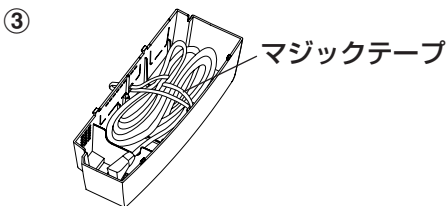
取り付けかた



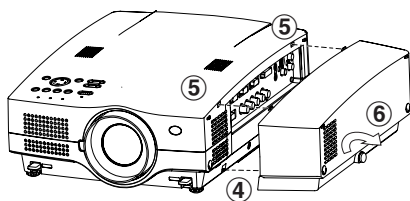
- ① ボタンがおされないように操作面を下にしてリモコンを収納する。



- ② 電源コードなどを収納する。

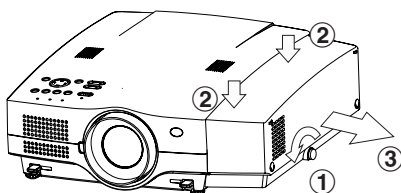


- ③ ケーブルカバー穴にマジックテープをとおしてとめる。



- ④ ケーブルカバーのつめ1を本機の取り付け孔に差し込む。
⑤ つめ2をカチッと固定するまで押し込む。
⑥ ネジを時計方向に回して締めつける。

取り外しかた



- ① ネジを空回りするまで時計方向と反対に回す。
② ケーブルカバーの上2箇所を押しロックを外す。
③ 後へ引いてケーブルカバーを外す。

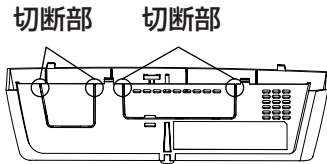
お願い

- ケーブルカバーを持って本体を持ち上げないでください。ケーブルカバーが外れる可能性があります。

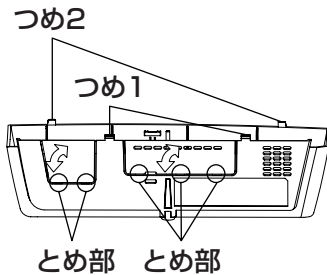
端子部カバーとして使う

天つり等で本機を使用の場合、付属のケーブルカバーの切り込み部を切断することにより、接続した端子を隠す端子部カバーとして使用することができます。

①切断部をニッパー等で切る。

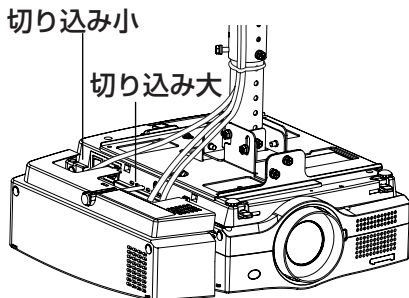


②切り込み部を外側に折り曲げ、数回折り返し、とめ部を折る。必要であればバリの処理をしてください。

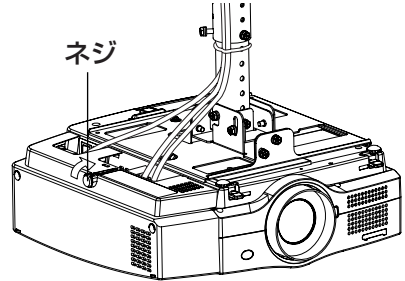


③切り込み小には電源コード等を、切り込み大にはケーブル等を通して、ケーブルカバーのつめ1を本機の取り付け孔に差し込む。

④つめ2をカチッと固定するまで押し込む。



⑤ネジを時計方向に回して締めつける。



取り外しに関しては61ページを参照してください。

お願い

- 端子部カバーとして使用する場合は吸気孔をふさがないようにしてください。
- ケーブルカバーに荷重をかけないでください。ケーブルカバーが外れる可能性があります。
- ケーブルを大きく湾曲させないでください。ケーブルカバーが取り付けにくくなります。

お知らせ

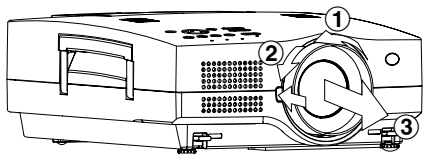
- エアーフィルターの清掃、交換はケーブルカバーを外して行ってください。

投写レンズを交換する

別売の投写レンズと交換することで投写距離を変えることができます。

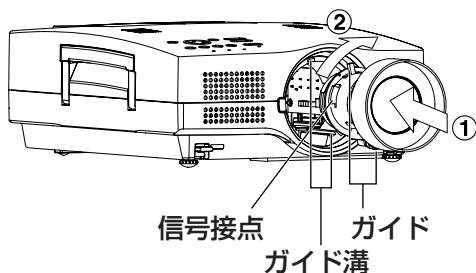
交換手順

取り外し方



- ① 投写レンズを時計方向と反対にまわしきる。
- ② レンズロックボタンを押しながらさらに時計方向と反対にまわす。
- ③ 投写レンズを抜きとる。

取り付け方



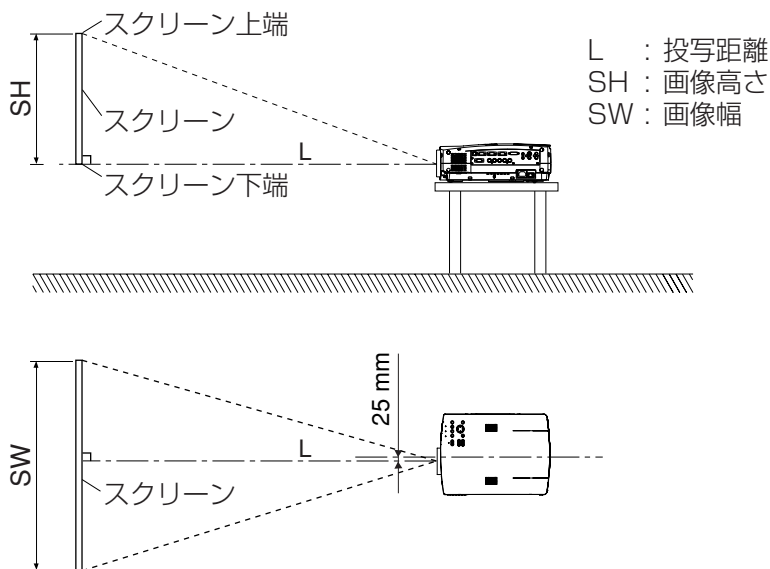
- ① 投写レンズのガイドを本機のガイド溝に合わせて奥まで差し込む。
- ② 「カチッ」と音がするまで時計方向にまわす。

お知らせ

- レンズ交換は本機の電源を切ってから行ってください。
- レンズ信号接点には指を触れないようにしてください。ホコリや汚れなどにより、接触不良の原因となることがあります。
- 投写レンズ面は素手でさわらないでください。
- 交換したレンズは振動や衝撃を与えないように保管してください。
- レンズを交換した時は、「映像」メニューの「レンズ選択」で設定を変えてください。(P.50ページ)

投写レンズごとの投写距離

投写関係



TY-LE10(短焦点ズーム)

画面サイズ(4 : 3)			投写距離(L)	
対角(型)	高さ(SH)	幅(SW)	ワイド(LW)	テレ(LT)
40	0.61 m	0.81 m	1.1 m	1.3 m
50	0.76 m	1.02 m	1.3 m	1.7 m
60	0.91 m	1.22 m	1.6 m	2.0 m
70	1.07 m	1.42 m	1.9 m	2.4 m
80	1.22 m	1.63 m	2.2 m	2.7 m
90	1.37 m	1.83 m	2.4 m	3.1 m
100	1.52 m	2.03 m	2.7 m	3.5 m
150	2.29 m	3.05 m	4.0 m	5.3 m
200	3.05 m	4.06 m	5.4 m	7.0 m
250	3.81 m	5.08 m	6.7 m	8.8 m
300	4.57 m	6.10 m	8.1 m	10.6 m

TY-LE20(中焦点ズーム)

画面サイズ(4 : 3)			投写距離(L)	
対角(型)	高さ(SH)	幅(SW)	ワイド(LW)	テレ(LT)
40	0.61 m	0.81 m	2.1 m	3.3 m
50	0.76 m	1.02 m	2.7 m	4.2 m
60	0.91 m	1.22 m	3.2 m	5.0 m
70	1.07 m	1.42 m	3.8 m	5.9 m
80	1.22 m	1.63 m	4.3 m	6.8 m
90	1.37 m	1.83 m	4.9 m	7.7 m
100	1.52 m	2.03 m	5.4 m	8.5 m
150	2.29 m	3.05 m	8.2 m	12.9 m
200	3.05 m	4.06 m	11.0 m	17.2 m
250	3.81 m	5.08 m	13.8 m	21.6 m
300	4.57 m	6.10 m	16.5 m	26.0 m

TY-LE30(長焦点ズーム)

画面サイズ(4 : 3)			投写距離(L)	
対角(型)	高さ(SH)	幅(SW)	ワイド(LW)	テレ(LT)
40	0.61 m	0.81 m	3.4 m	4.6 m
50	0.76 m	1.02 m	4.2 m	5.8 m
60	0.91 m	1.22 m	5.0 m	6.9 m
70	1.07 m	1.42 m	5.8 m	8.1 m
80	1.22 m	1.63 m	6.6 m	9.2 m
90	1.37 m	1.83 m	7.4 m	10.4 m
100	1.52 m	2.03 m	8.2 m	11.5 m
150	2.29 m	3.05 m	12.2 m	17.3 m
200	3.05 m	4.06 m	16.3 m	23.0 m
250	3.81 m	5.08 m	20.4 m	28.7 m
300	4.57 m	6.10 m	24.4 m	34.5 m

表以外の投写寸法は下記の計算式で求めることができます。
画面サイズ(対角)をSD(型)とすると、ワイド時の投写距離(LW)、テレ時の投写距離(LT)を下記の計算式で求めることができます。

投写レンズ品番		アスペクト比	投写距離 (L) 計算式
ズーム レンズ	TY-LE10 (1.3~1.7 : 1)	4 : 3	LW=0.027×SD-0.0523 LT=0.0355×SD-0.0509
		16 : 9	LW=0.0294×SD-0.0523 LT=0.0387×SD-0.0509
	TY-LE20 (2.6~4.2 : 1)	4 : 3	LW=0.0554×SD-0.134 LT=0.0871×SD-0.136
		16 : 9	LW=0.0604×SD-0.134 LT=0.0949×SD-0.136
	TY-LE30 (4.0~5.6 : 1)	4 : 3	LW=0.0809×SD+0.104 LT=0.1147×SD+0.096
		16 : 9	LW=0.0881×SD+0.104 LT=0.1250×SD+0.096

仕様

使用電源	AC 100 V 50 Hz/60 Hz
消費電力	380 W(リモコンスタンバイ時約9 W ただし、ファン停止時) (WEBスタンバイ時40 W:50ページ参照)
液晶パネル	
パネルサイズ	1.0 型(アスペクト比4:3) マイクロレンズアレイ付き
表示方式	透過型液晶パネル3 枚 3 原色方式
駆動方式	アクティブマトリクス方式
画素数	786 432 画素(1 024×768 ドット)×3 枚
レンズ	ズーム(1~1.2)・フォーカスレンズ F 1.7~2.1、f 40.7 mm~52.8 mm
光源ランプ	270 W UHMランプ
光出力	3 200 lm
対応走査周波数(RGB信号時)	
水平走査周波数	15 kHz~91 kHz
垂直走査周波数	50 Hz~87 Hz
ドットクロック周波数	108 MHz以下
YPbPr信号	480i、576i、480p、576p、 1 080/60i、1 080/50i、720/60p
カラー方式	7方式(NTSC/NTSC4.43/PAL/PAL- M/PAL-N/PAL60/SECAM)
投写画面サイズ	40 型~300 型
投写距離	1.6 m~16.0 m
光軸シフト量	10 : 0 (固定)
画面アスペクト比	4 : 3
投写方式	フロント/リア/天井/床置き (メニュー設定方式)
スピーカー	4.0 cm×3.0 cm だ円型 2 個
音声実用最大出力	2 W(ステレオ)
接続端子	
DVI-D入力端子	1系統 DVI-D 24ピン
RGB/YPbPr入出力端子	2系統(高密度 D-sub 15ピン(メス)) (1系統のみ入出力の切り換え可能) 1系統 BNC×5
YPbPr入出力時	
Y:	1.0 V [p-p](同期信号を含む) 75 Ω
PbPr :	0.7 V [p-p] 75 Ω
RGB入出力時	
R、G、B:	0.7 V [p-p] 75 Ω
G・SYNC:	1.0 V [p-p] 75 Ω
HD/SYNC:	TTL ハイインピーダンス 正/負極性自動対応
VD:	TTL ハイインピーダンス 正/負極性自動対応
RGB音声入力端子	1 系統 ステレオミニピンジャック 0.5 V [rms]

ビデオ入力端子	1 系統 RCA ピンジャック 1.0 V [p-p] 75 Ω
Sビデオ入力端子	1 系統 Mini DIN 4ピン Y 1.0 V [p-p] C 0.286 V [p-p] 75 Ω
ビデオ/Sビデオ用音声入力端子	1 系統 RCA ピンジャック×2(L-R) 0.5 V [rms]
音声出力端子	1 系統 ステレオミニピンジャック (モニター出力、ステレオ対応可) 0 V [rms]~1.0 V [rms] (可変)
シリアル端子	D-sub 9p(メス)RS-232C準拠 パソコン制御用
リモート端子	D-sub 9p(メス) 遠隔制御用
LAN端子	RJ-45 1 系統 10 Base-T/100 Base-TX 準拠 パソコン制御用
電源コードの長さ	3.0 m
キャビネット	樹脂成型品(PC/ABS)
外形寸法	横幅 290 mm 高さ 137 mm 奥行 406 mm(レンズカバー未装着時)
質量	5.8 kg
使用環境条件	使用周囲温度 0℃~40℃ (ただし、48ページの「ファン制御」を「高」に設定している場合は、0℃~35℃) 使用周囲湿度 20%~80% (結露のないこと)
<リモコン>	
使用電源	DC 3 V(単4形乾電池2個)
操作距離	約7 m (受光部正面)
質量	97 g(電池含む)
外形寸法	横幅 45 mm 高さ 145 mm 厚さ 23 mm
<オプション>	
天つり金具	TY-PK780
天つり金具(低天井用)	TY-PK780S
ワイヤレスマウスレシーバー	TW-RMRC2
投影レンズ	TY-LE10(短焦点ズーム用) TY-LE20(中焦点ズーム用) TY-LE30(長焦点ズーム用)

※ 出荷時における本製品全体の平均的な値を示しており、JIS X 6911:2003 データプロジェクタの仕様書様式に則って記載しています。測定方法、測定条件については附属書2に基づいています。

※ この液晶プロジェクターを使用できるのは、日本国内のみで、外国では電源電圧が異なりますので使用できません。

(This LCD projector is designed for use in Japan only and can not be used in any other country.)

付録

対応信号リスト

表示モード	解像度 (ドット)*1	走査周波数		ドット クロック 周波数 (MHz)	画質*2	リサイジ ング*3	フォー マット
		水平 (kHz)	垂直 (Hz)				
NTSC/NTSC4.43/ PAL-M/PAL60	720 x 480i	15.7	59.9		A	OK	Video/S-Video
PAL/PAL-N/SECAM	720 x 576i	15.6	50.0		A	OK	Video/S-Video
480i	720 x 480i	15.7	59.9	13.5	A	OK	YPbPr/RGB
576i	720 x 576i	15.6	50.0	13.5	A	OK	YPbPr/RGB
480p	720 x 483	31.5	59.9	27.0	A	OK	YPbPr/RGB
576p	720 x 576	31.3	50.0	27.0	A	OK	YPbPr/RGB
1 080/60i	1 920 x 1 080i	33.8	60.0	74.3	A		YPbPr/RGB
1 080/50i	1 920 x 1 080i	28.1	50.0	74.3	A		YPbPr/RGB
720/60p	1 280 x 720	45.0	60.0	74.3	A		YPbPr/RGB
VGA400	640 x 400	31.5	70.1	25.2	A	OK	RGB
	640 x 400	37.9	85.1	31.5	A	OK	RGB
VGA480 *4	640 x 480	31.5	59.9	25.2	A	OK	RGB/DVI
	640 x 480	35.0	66.7	30.2	A	OK	RGB
	640 x 480	37.9	72.8	31.5	A	OK	RGB
	640 x 480	37.5	75.0	31.5	A	OK	RGB
	640 x 480	43.3	85.0	36.0	A	OK	RGB
SVGA	800 x 600	35.2	56.3	36.0	A	OK	RGB
	*4 800 x 600	37.9	60.3	40.0	A	OK	RGB/DVI
	800 x 600	48.1	72.2	50.0	A	OK	RGB
	800 x 600	46.9	75.0	49.5	A	OK	RGB
	800 x 600	53.7	85.1	56.3	A	OK	RGB
MAC16	832 x 624	49.7	74.6	57.3	A	OK	RGB
XGA *4	1 024 x 768	48.4	60.0	65.0	AA		RGB/DVI
	1 024 x 768	56.5	70.1	75.0	AA		RGB
	1 024 x 768	60.0	75.0	78.8	AA		RGB
	1 024 x 768	68.7	85.0	94.5	AA		RGB
	1 024 x 768i	35.5	87.0	44.9	AA		RGB
MXGA	1 152 x 864	64.0	71.2	94.2	A		RGB
	1 152 x 864	67.5	74.9	108.0	A		RGB
	1 152 x 864	76.7	85.0	121.5	B		RGB
MAC21	1 152 x 870	68.7	75.1	100.0	A		RGB
MSXGA *4	1 280 x 960	60.0	60.0	108.0	A		RGB/DVI
SXGA *4	1 280 x 1 024	64.0	60.0	108.0	A		RGB/DVI
	1 280 x 1 024	80.0	75.0	135.0	B		RGB
	1 280 x 1 024	91.1	85.0	157.5	B		RGB
	*4 1 400 x 1 050	64.0	60.0	108.0	A		RGB
UXGA *4	1 600 x 1 200	75.0	60.0	162.0	B		RGB

*1 解像度の後ろの“i”は、インターレース信号を示しています。

*2 画質を表す記号は下記の通りです。

AA 最高の画質で投写できます。A 画像処理回路で変換を行い投写しています。

B データを間引いて簡易投写しています。

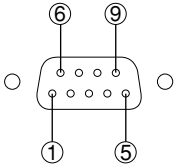
*3 リサイジングの項にOKのついている信号は、ポジションメニューのリサイジング(☞45ページ)を設定できます。

*4 フレームロック機能に対応している信号です。(☞45ページ)

リモート端子について

本体側面端子部のリモート(REMOTE)端子を使用することで、設置場所から離れたリモコンの信号が届かない場所にある制御盤などから、本体を遠隔制御することができます。

ピン配列と制御内容について



D-Sub 9p (メス)
外側から見た図

ピン NO.	信号名	内容
①	GND	グラウンド
②	POWER	電源ON
③	INPUT SEL3	入力信号選択3
④		NC
⑤	INPUT SEL1	入力信号選択1
⑥	INPUT SEL2	入力信号選択2
⑦		NC
⑧		NC
⑨	ENABLE	接点制御

制御を行う場合は必ず、①番ピンと⑨番ピンは短絡させてください。

ランプ点灯／消灯

ピン番号	設定	
②-①	短絡	開放
動作	点灯	消灯(スタンバイ)

入力信号切り換え

ピン番号	設定					
③-①	開放	開放	短絡	短絡	短絡	開放
⑤-①	開放	短絡	開放	開放	短絡	開放
⑥-①	開放	開放	短絡	開放	開放	短絡
入力信号	RGB1	RGB2	RGB3	VIDEO	S-VIDEO	DVI

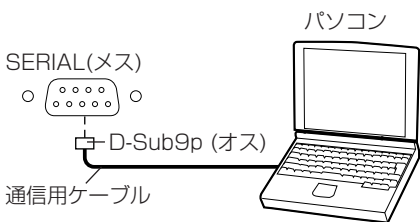
お知らせ

- ①番、⑨番ピンを短絡させると本体操作部とリモコンの電源(POWER)ボタン、RGBボタン、ビデオ(VIDEO)ボタンが使用できなくなります。また、これらのボタンに相当するRS-232C用コマンドも使用できなくなります。
- ⑨番ピンを開放したまま、①、②、③、⑤、⑥番ピンを短絡させないでください。この設定を行うと、本体はリモコンからの信号を一切受け付けなくなります。

シリアル端子について

本機側面端子部のシリアル(SERIAL)端子はRS-232C準拠のためパソコンと接続して本機をパソコンで制御することができます。

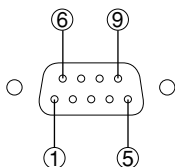
接続



お願い

- シリアル(SERIAL)端子とパソコンをつなぐ通信用ケーブルは、使用されるパソコンに合わせてご用意ください。

ピン配列と信号名



D-Sub 9p (外側から見た図)

ピン NO.	信号名	内容
①		NC
②	TXD	送信データ
③	RXD	受信データ
④		NC
⑤	GND	グラウンド
⑥	DSR	内部で接続されています
⑦	CTS	
⑧	RTS	
⑨		NC

通信条件

信号レベル	RS-232C準拠
同期方式	調歩同期
ボーレート	9 600 bps
パリティ	なし
キャラクター長	8 ビット
ストップビット	1 ビット
X パラメーター	なし
S パラメーター	なし

基本フォーマット

パソコンからの伝送はSTXで開始され、続いてコマンド、パラメーター、最後にETXの順に送信します。パラメーターは制御内容の必要に応じて付加してください。

STX	コマンド	:	パラメーター	ETX
スタート (02h)	3 byte		1 byte-5 byte	エンド (03h)

お願い

- ランプ点灯開始後、約10秒間はコマンドを受信できませんので、必ず10秒以上経過してから送信してください。
- 複数のコマンドを送信する場合は必ず本機からの応答を受け取ってから次のコマンドを送信してください。
- パラメーターを必要としないコマンドを送信する場合は、コロン(:)は必要ありません。

お知らせ

- 間違ったコマンドを送信すると、本機から"ER401"というコマンドがパソコン側に送信されます。

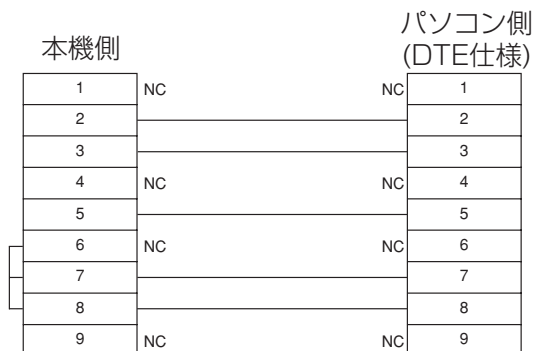
制御コマンド

パソコンで本機を制御する際のコマンドは下表の通りです。

コマンド	内容	備考
PON	電源「入」	スタンバイ状態においては「PON」以外のコマンドは無効です。 <ul style="list-style-type: none"> ランプ点灯制御中、「PON」コマンドは受け付けません。 ランプ消灯後、冷却ファン動作中に「PON」コマンドを送信した場合、ランプの保護のため、消灯後約85秒経過しないと点灯制御を開始しません。
POF	電源「切」	
AVL	音量	パラメーター 000(調整値0)～063(調整値63)
IIS	入力切り換え	パラメーター VID=VIDEO SVD=S-VIDEO RG1=RGB1 RG2=RGB2 RG3=RGB3 DVI=DVI
Q\$\$S	ランプ点灯状態 問い合わせ	コールバック 0=スタンバイ 1=ランプ点灯制御中 2=ランプ点灯 3=ランプ消灯制御中
OSH	シャッター機能	コマンドを送信するごとにオン/オフが切り換わります。短時間でのオン/オフの切り換えは行わないでください。

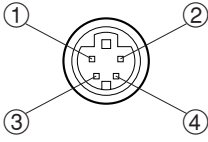
ケーブル仕様

《パソコンと接続する場合》



接続端子のピン配列

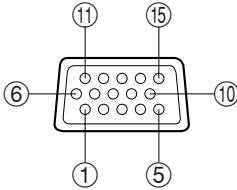
- Sビデオ入力(S-VIDEO IN)端子のピン配列と信号名は下記の通りです。



外側から見た図

ピンNo.	信号
①	アース(輝度信号)
②	アース(色信号)
③	輝度信号
④	色信号

- RGB入出力(RGB IN/RGB OUT)端子のピン配列と信号名は下記の通りです。



外側から見た図

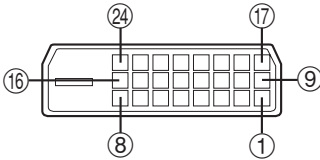
ピンNo.	信号
①	R/PR
②	G/G・SYNC/Y
③	B/PB
⑫	SDA
⑬	HD/SYNC
⑭	VD
⑮	SCL

⑨は未使用

④～⑧、⑩、⑪はGND端子です。

⑫、⑮はパソコン側に機能があれば有効です。

- DVI-D入力端子のピン配列と信号名は、下記の通りです。
(TMDS付パソコン用端子)

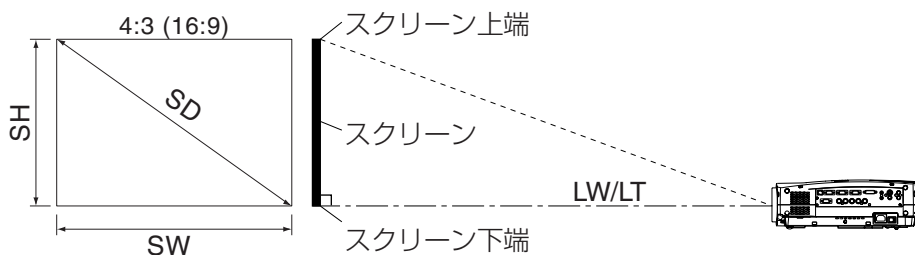


外側から見た図

ピンNo.	信号
①	T.M.D.Sデータ2-
②	T.M.D.Sデータ2+
③	T.M.D.Sデータ2/4シールド
④	T.M.D.Sデータ4-
⑤	T.M.D.Sデータ4+
⑥	DDCクロック
⑦	DDCデータ
⑧	—
⑨	T.M.D.Sデータ1-
⑩	T.M.D.Sデータ1+
⑪	T.M.D.Sデータ1/3シールド
⑫	T.M.D.Sデータ3-
⑬	T.M.D.Sデータ3+
⑭	+5V
⑮	グラウンド
⑯	ホットプラグ検出
⑰	T.M.D.Sデータ0-
⑱	T.M.D.Sデータ0+
⑲	T.M.D.Sデータ0/5シールド
⑳	T.M.D.Sデータ5-
㉑	T.M.D.Sデータ5+
㉒	T.M.D.Sクロックシールド
㉓	T.M.D.Sクロック+
㉔	T.M.D.Sクロック-

投写寸法の計算式

画面サイズ(対角)をSD(型)とすると、ワイド時の投写距離(LW)、テレ時の投写距離(LT)を下記の計算式で求めることができます。



$LW=0.0407 \times SD - 0.080$

$LT=0.0538 \times SD - 0.0774$

16:9の場合は、下記の計算式で投写距離を求めることができます。

$LW=0.0443 \times SD - 0.080$

$LT=0.0586 \times SD - 0.0774$

お知らせ

- 上記の表の寸法や計算式で求められる値は若干の誤差があります。

保証とアフターサービス

よくお読みください

修理・お取り扱い・お手入れなどのご相談は……
まず、お買い上げの販売店へお申し付けください。

■ 保証書(別添付)

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ず確かめ、お買い上げの販売店からお受け取りください。よくお読みのあと、保存してください。

保証期間：お買い上げ日から本体1年間。

ただし光源ランプは6ヵ月または600時間の早い方

■ 補修用性能部品の保有期間

当社は、この液晶プロジェクターの補修用性能部品を、製造打ち切り後8年間保有しています。

注) 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■ 修理を依頼される時

59ページの「修理を依頼される前に」や、組み合わせをされた機器の「取扱説明書」もよくお読みのうえ調べていただき、直らないときは、まず電源プラグを抜いて、お買い上げの販売店へご連絡ください。

● 保証期間中は

保証書の規定に従って、出張修理をさせていただきます。ただし、1年未満でも長時間使用による液晶パネルや偏光板などの光学部品の消耗劣化交換は、有料になる場合があります。

● 保証期間を過ぎているときは

修理すれば使用できる製品については、ご要望により修理させていただきます。下記の修理料金の仕組みをご参照のうえご相談ください。

● 修理料金の仕組み

修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

技術料 は、診断・故障個所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。

部品代 は、修理に使用した部品および補助材料代です。

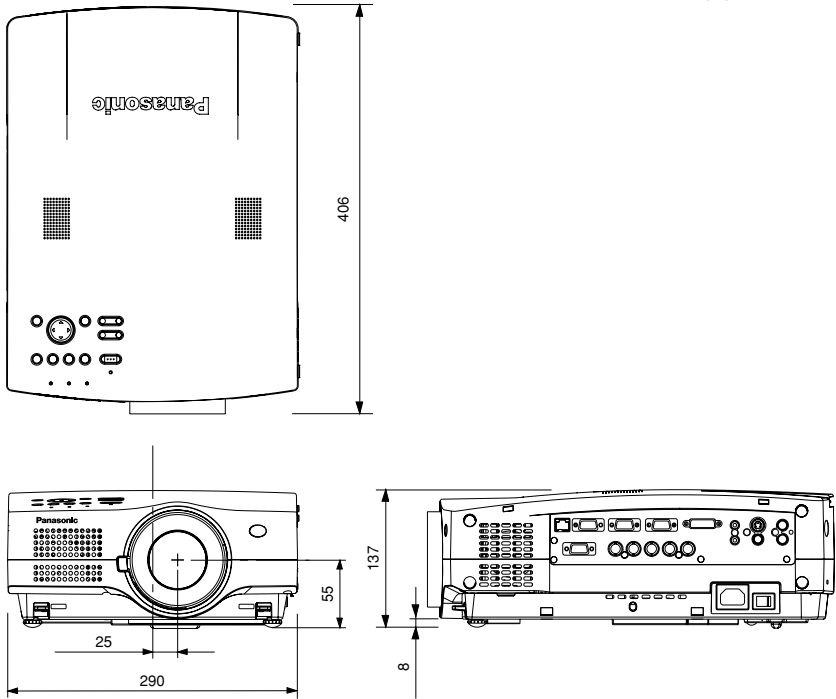
出張料 は、お客様のご依頼により製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

修理を依頼される時ご連絡いただきたい内容	
ご氏名	
ご住所	付近の見取図、目印など。
電話番号	呼び出しでもけっこうです。
製品名・品番 お買い上げ日	お手もとの保証書をご覧ください。
故障または異常の内容	モニターランプ点灯状況を含め、詳しくお願いします。
ご訪問ご希望日	ご都合の悪い日もあわせて。

その他

外形寸法図

<単位：mm>



商標について

- Windows は、米国Microsoft Corporation（マイクロソフト社）の米国およびその他の国の商標または登録商標です。
- VGA、XGAは米国 International Business Machines Corporationの商標です。
- Macintosh は米国アップルコンピュータ社の登録商標です。
- S-VGA は Video Electronics Standards Associationの商標または登録商標です。

なお、各社の商標および製品商標に対しては特に注記のない場合でも、これを十分尊重いたします。

この取扱説明書は再生紙を使用しております。

S0604-0A

松下電器産業株式会社
システム事業グループ

〒571-8503 大阪府門真市松葉町2番15号 電話 (06) 6901-1161